



千葉大学キャンパスマスタープラン 2017 資料編①

「現状と課題」

Nishi Chiba Campus 西千葉キャンパス

千葉大学キャンパスマスタープラン 2017
資料編① 西千葉キャンパス「現状と課題」

目次

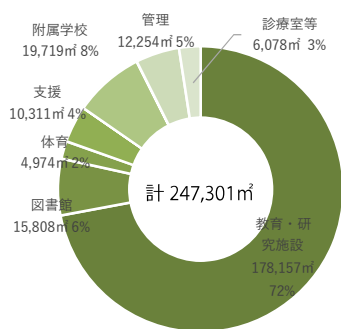
キャンパス概要

西千葉キャンパス	・・・・・・・・	51
1 土地利用と建物配置		
1-1 周辺地域・土地利用	・・・・・・・・	52
1-2 機能別ゾーン	・・・・・・・・	53
1-3 建物デザイン・高さ	・・・・・・・・	54
1-4 建物老朽	・・・・・・・・	55
1-5 講義室	・・・・・・・・	56
2 インフラ計画		
2-1 交通動線	・・・・・・・・	57
2-2 駐輪場	・・・・・・・・	58
2-3 駐車場	・・・・・・・・	59
2-4 基幹設備	・・・・・・・・	60
2-5 エネルギー消費量・CO2 排出量・創エネ	・・・・・・・・	61
3 パブリックスペース		
3-1 学生スペース・交流スペース	・・・・・・・・	62
3-2 広場・オープンスペース	・・・・・・・・	63
3-3 樹木・緑地	・・・・・・・・	64
3-4 シンボル・歴史資源	・・・・・・・・	65
3-5 サイン・情報掲示	・・・・・・・・	66
4 安全・安心		
4-1 耐震改修	・・・・・・・・	67
4-2 犯罪・事故	・・・・・・・・	68
4-3 外灯	・・・・・・・・	69
4-4 バリアフリー	・・・・・・・・	70
4-5 避難場所	・・・・・・・・	71
4-6 喫煙場所	・・・・・・・・	72
4-7 廃棄物	・・・・・・・・	73
4-8 都市型豪雨	・・・・・・・・	74
5 その他		
5-1 全学共同利用スペース	・・・・・・・・	75
5-2 宿舎	・・・・・・・・	76

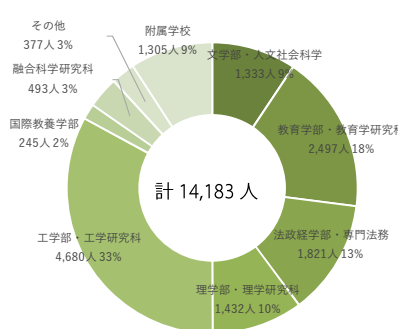
西千葉キャンパス概要



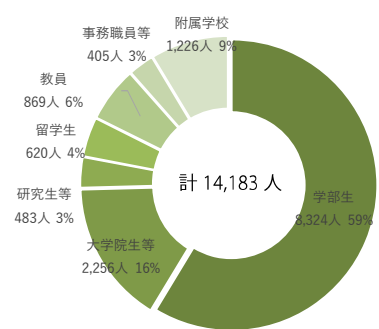
所在地	千葉市稲毛区弥生町 1-33	学部	国際教養学部・文学部・法政経学部・教育学部・理学部・工学部
設置年度	昭和 37 年	大学院	人文公共学府・専門法務研究科・教育学研究科・融合理工学府・人文科学研究院・社会科学研究院・理学研究院・工学研究院
敷地面積	380,958㎡	センター等	環境リモートセンシング研究センター・アカデミック・リンク・センター・共用機器センター・統合情報センター・先進科学センター・分子キラリティー研究センター・フロンティア医工学センター・ベンチャービジネスラボラトリー・アイソトープ実験施設・附属次世代モビリティパワーソース研究センター・国際教育センター・附属教員養成開発センター・附属幼稚園・附属小学校・附属中学校・附属創造工学センター・附属図書館・グローバル関係融合研究センター・附属ハードロ宇宙国際研究センター・附属創造工学センター
建築面積	76,654㎡		
延床面積	247,301㎡		
棟数	171 棟		



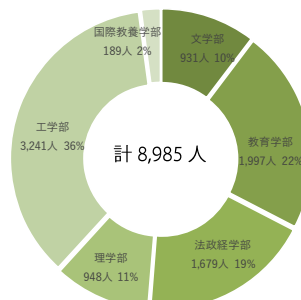
区分別面積分布



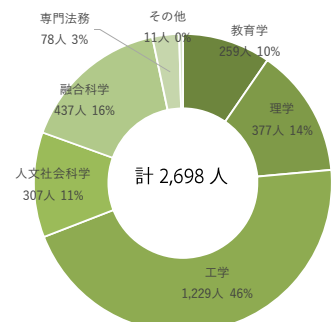
所属別構成員比 (学生・教職員)



分類別構成員比 (学生・教職員)



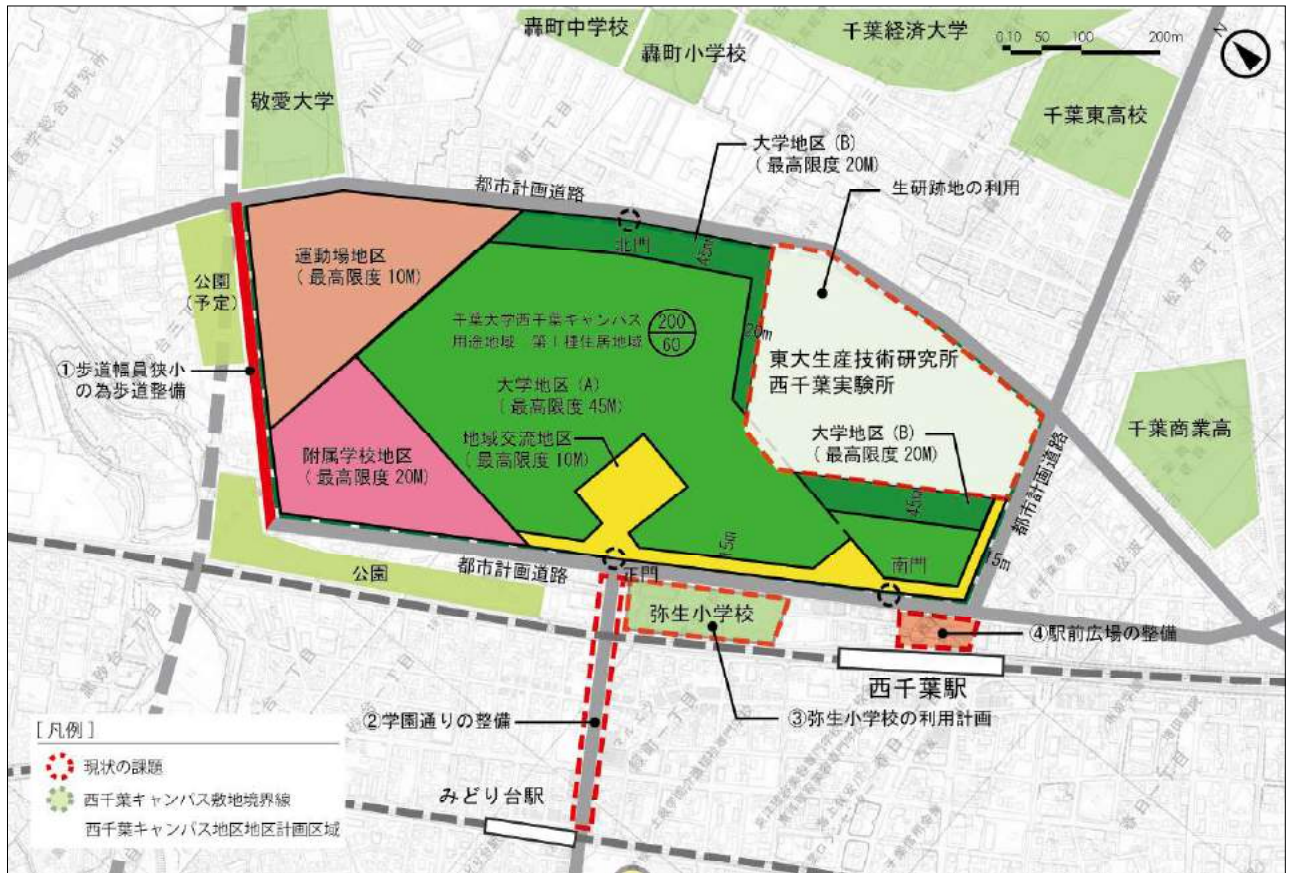
構成員比 学部生



構成員比 大学院生

施設面積：施設実態報告面積等集計表 (H28.5.1) 施設環境部
 構成員：大学概要データ (H28.5) 留学生データ (H28.11)
 ヒアリング (附属学校関係)

1-1 周辺地域・土地利用



キャンパス周辺マップ

■ CMP2012 からの変化

- ・キャンパス地区内の地区計画が決定され、今後の計画の与条件となる。
- ・南門周辺整備に関して H27 より千葉市との協議を開始した。

■ 現状・課題

JR 西千葉駅直近に南門があり、最も利用人数の多い門となっている。キャンパスに隣接する東大生産技術研究所が移転予定である。

- ・東大生産研の跡地（予定）がキャンパスの発展に影響を及ぼす可能性がある。
- ・市道幅員は概ね終了しているが、西側の歩道の幅員が狭く、通行しづらい。
- ・学園通り（正門～みどり台駅）の街路整備が市の政策課題
- ・弥生小学校の一部を附属幼稚園敷地として利用するための検討
- ・西千葉駅前広場から南門への歩道が狭

く、朝の通学時に人があふれる。

■ 検討の方向

- ・ゾーニング計画に反映
- ・隣接地を含めた将来計画
- ・西千葉駅から南門の一体的な整備



①キャンパス西側歩道整備



②学園通り

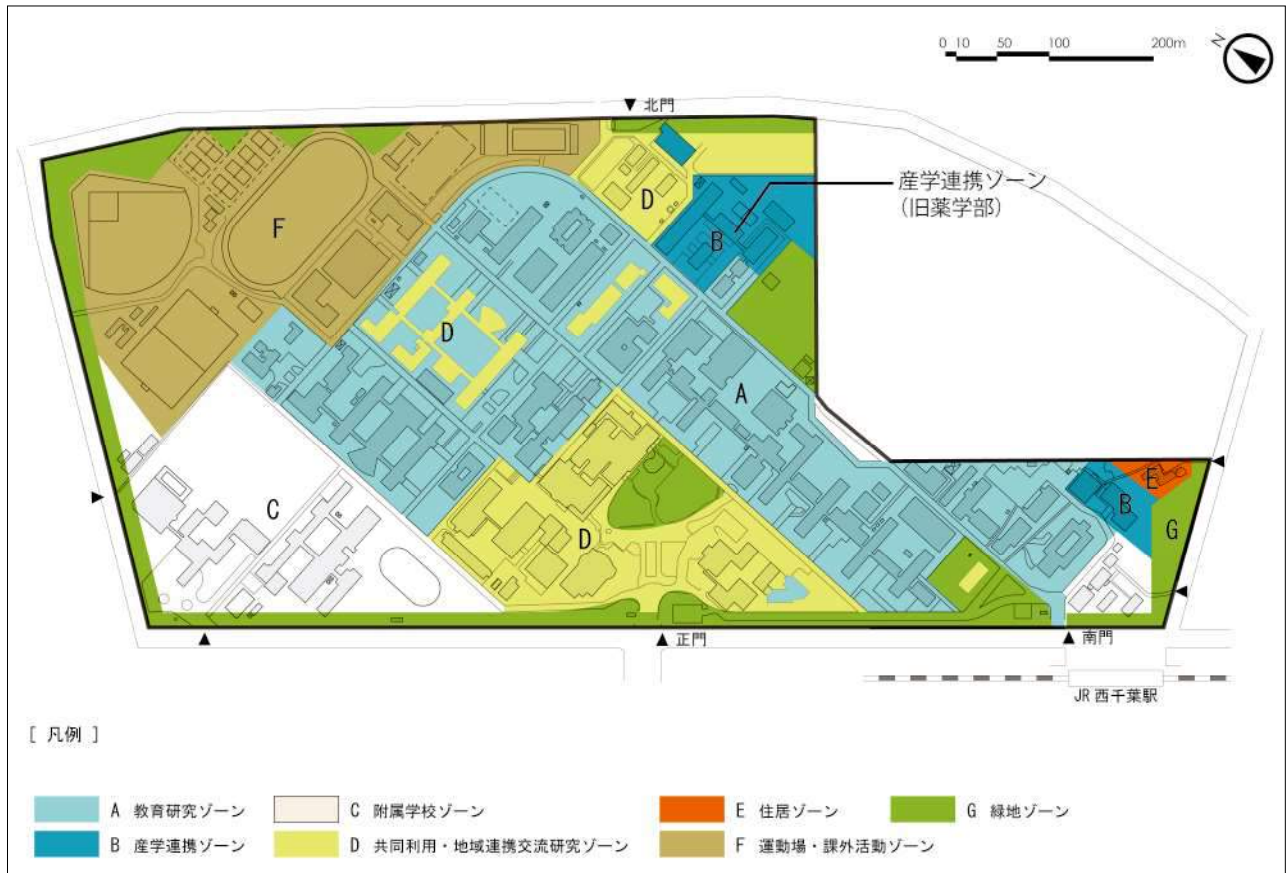


③弥生小学校



④南門周辺

1-2 機能別ゾーン



ゾーンマップ

■ CMP2012 からの変化

・マスタープラン 2012 での検討事項であった薬学部跡地に関して、産学連携ゾーンとして位置づけた。

■ 現状・課題

西千葉キャンパスは、教育研究、産学連携、附属学校、共同利用・地域交流、住居、運動場、緑地の機能別ゾーンが混在している。

・産学連携、知的財産機構、ベンチャービジネスラボラトリー、サイエンスパークセンターなどの産官学連携施設があるが各施設が隔離している。

・全学共同利用スペースである総合校舎が教育研究ゾーンの深部にある。

・教育学部と附属幼稚園の隔たり。

・正門から南門にかけて、ゾーンの位置づけが明確になっていない。

・ゾーン間の連携が適切でない。

■ 検討の方向

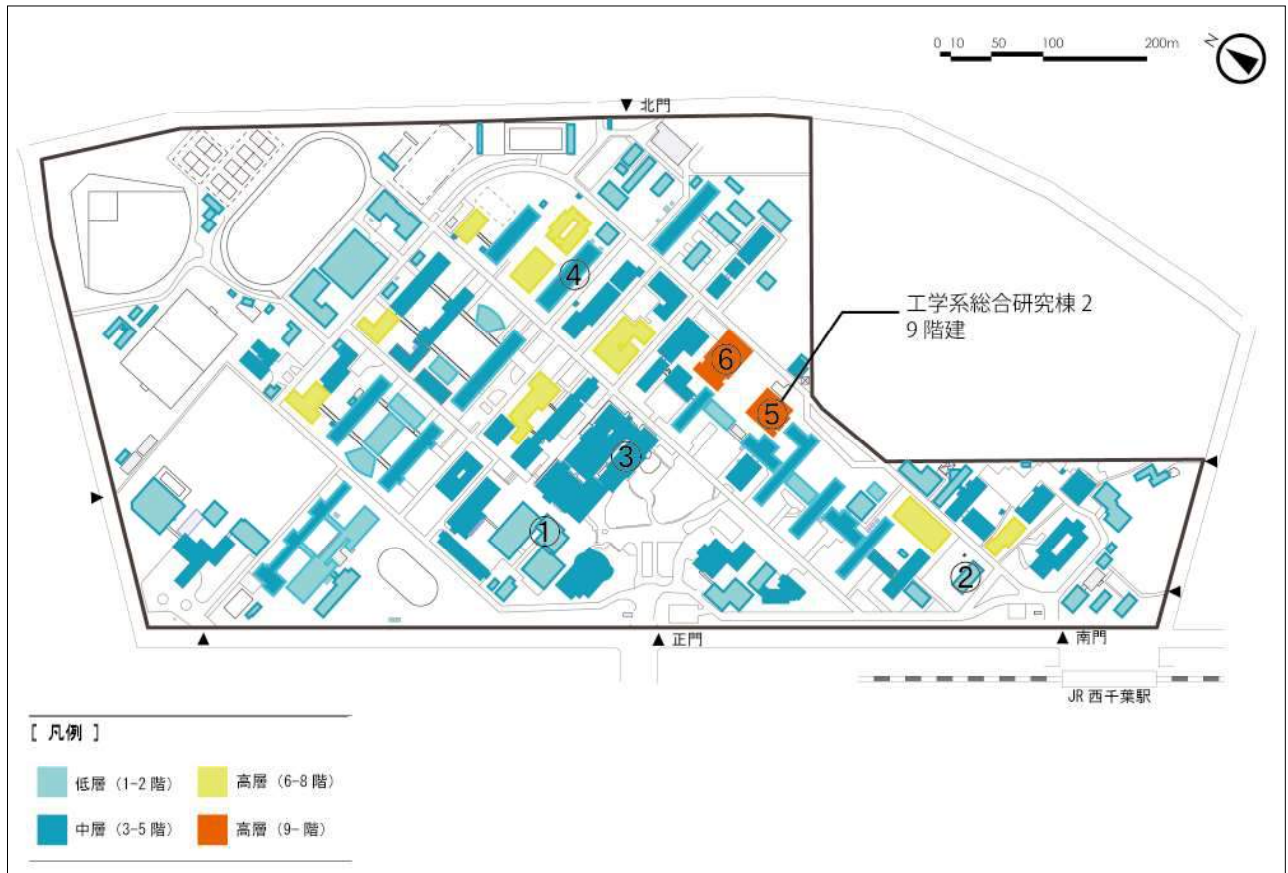
・正門から南門を交流ゾーンの核とし、共同利用、教育研究ゾーンがその周囲を取りまくゾーニング計画

・JR 西千葉駅～南門の一体整備

教育研究ゾーン	国際教養学部 文学部 法政経学部 教育学部 理学部 工学部 人文公共学府 専門法務研究科 教育学研究科 融合理工学府 人文科学研究院 社会科学研究院 理学研究院 工学研究院 先進科学センター フロンティア医工学センター 創造工学センター	附属学校ゾーン 附属幼稚園 附属小学校 附属中学校	共同利用地域連携交流研究ゾーン 事務局 附属図書館本館 アカデミック・リンク・センター 総合安全衛生管理機構 国際教育センター 総合校舎 学内共同研究センター アイソトープ実験施設 統合情報センター けやき会館・松韻会館 厚生施設（総合学生支援センター・学生支援プラザ・大会館） 文化系サークル会館	
	産学連携ゾーン 知識集約型共同研究拠点 次世代モビリティパワーステーション ベンチャービジネスラボラトリー 産学連携研究推進ステーション サイエンスパークセンター	住居ゾーン ゲストハウス	運動場・課外活動ゾーン 課外活動施設（野球場・サッカーコート・陸上競技場・テニスコート・多目的コート・体育館・武道場 他）	緑地ゾーン かたらいの森

(表) 機能別ゾーン一覧

1-3 建物デザイン・高さ



建物高さ分布図

施設環境部データ集より

■ CMP2012 からの変化

- ・2014（平成26）年に工学系総合研究棟2が完成した：9階建

■ 現状・課題

キャンパス内の建物のほとんどが4～5階の中間であるが、6～8階の建物が9棟、9階以上の建物が2棟ある。

- ・建物の色・デザインの調和がとれていない。

■ 検討の方向

- ・キャンパス全体の建物配置計画と合わせて、壁面線、建物高さ、スカイライン、外装色、材料に関するガイドラインの検討
- ・高層棟への建替えによる建て詰まりの解消
- ・将来の整備のために必要な空地の確保



①低層事例 総合学生支援センター (2012年改修)



②低層事例 松韻会館 (2016年改修)



③中層事例 アカデミックリンクセンター (2011年完成)



④中層事例 理学部1号棟



⑤高層事例 工学系総合研究棟2



⑥高層事例 自然科学系総合研究棟2

1-4 建物老朽



建物経年別・機能改修状況別配置図

施設環境部データ集より

■ CMP2012 からの変化

- ・ 2013(平成 25)年: 体育館、2014(平成 26)年: 旧薬学部講堂(現: 楓ホール), 附属図書館本館 L 棟、2015(平成 27)年: 学際研究棟、2016(平成 28)年: 松韻会館の機能改修および耐震改修工事が完了した。
- ・ 2014(平成 26)年: 武道場、総合校舎 G 号館、附属小学校南校舎、2015(平成 27)年: 工学部 2 号館の耐震改修工事が完了した。
- ・ 要改修率
CMP2012 3.3% → 2016 0%

■ 現状・課題

西千葉キャンパスにある建物 247,301㎡のうち、新耐震基準以前に完成した耐震改修対象保有面積は 134,287㎡で全体の 55.1%で、全ての建物が耐震改修済である。また、全面的な機能改修後 25 年以上経過し、改修検討が必要な面積は 11 棟 20,431㎡で工学部に集中している。

- ・ 工学部校舎群は改修後 25 年経過している。
- ・ 附属幼稚園・附属小学校南校舎・体育施設(武道場)・文学部・法政経学部 2 号館・工学部 2・21 号館・理学部 5 号館・学内共同研究センターが築 40 年を超え老朽化している。

■ 検討の方向

- ・ 将来的な改修保全と建替えの判定方法を検討し、劣化防止計画に反映
- ・ 共同利用施設や課外活動施設の整備手法
- ・ 工学部等校舎群の再開発
- ・ 長期修繕計画

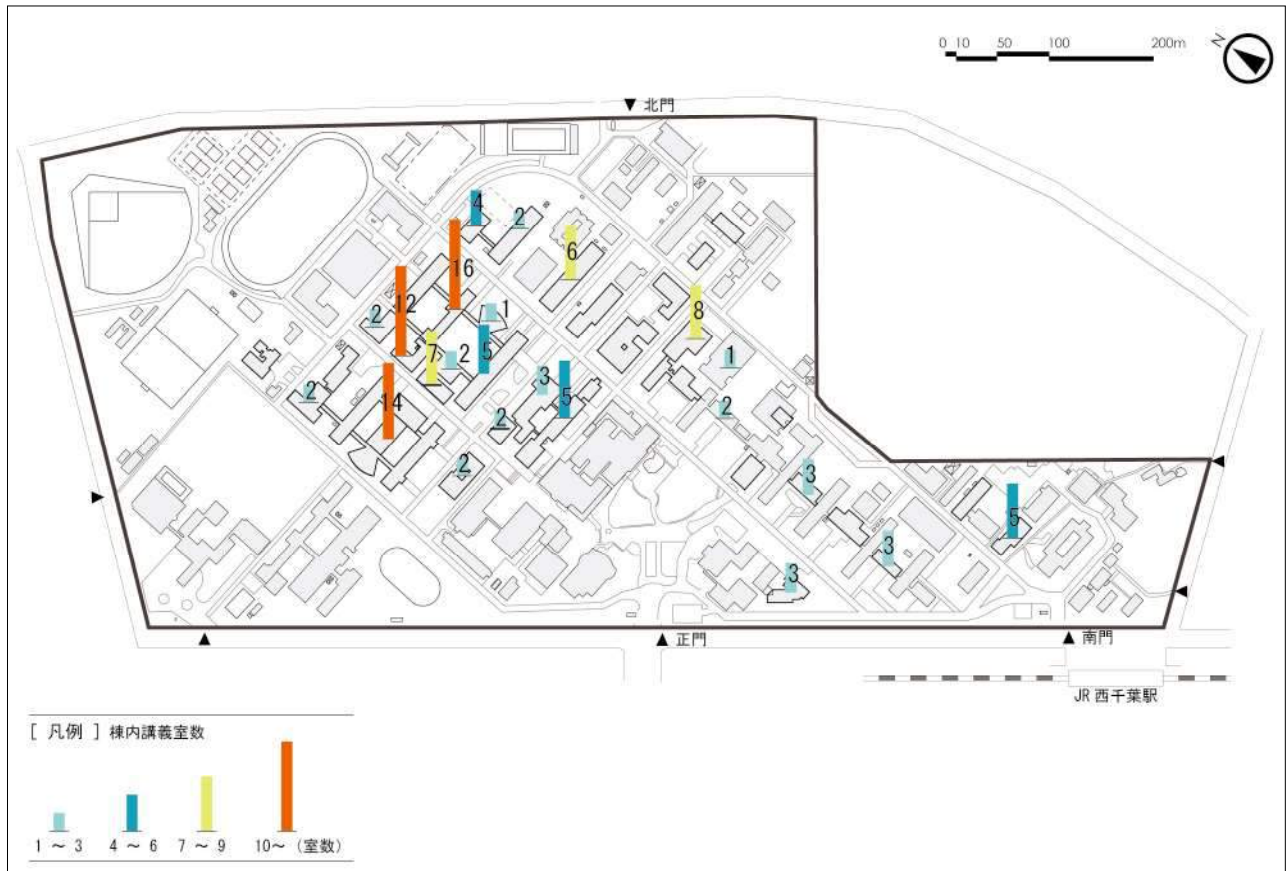


①松韻会館(2016年改修)



②工学部

1-5 講義室



講義室分布図

施設環境部資料より

■ CMP2012 からの変化

60%以上の稼働率をもつ面積割合
42.5% (2012年) → 42.4%(2016年)

■ 現状・課題

全体で 110 室ある講義室は、95 室が共用講義室となっている。共用講義室は総合校舎に概ね集約されており (41 室)、残りは各学部が保有運営している。稼働率については、60%以上の稼働率をもつ面積割合は講義室全体の 42.4%である。

- ・ 全学共同利用されるべき総合校舎がキャンパス中心部になく、正門や南門から遠いところにある。
- ・ 総合校舎と工学部との距離が離れているため、授業間の移動に時間がかかり授業に支障が生じる可能性がある。
- ・ 少人数教育用の演習室が不足している。
- ・ 普遍教育において、カリキュラムを適切に組めば不足はないが、定員 480 名を超

える学生が来る利用日もあり、規模に問題がある。

- ・ どのくらいの規模の室がどの程度の数必要かを確認のうえ見直しが必要

■ 検討の方向

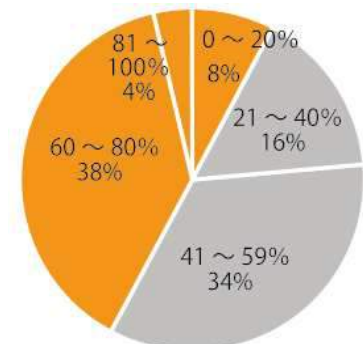
- ・ 低稼働率の講義室の有効活用と他用途転用
- ・ 講義室等の部局、学科横断での共有等有効利用のさらなる推進
- ・ 建物の配置計画とゾーニングに反映

校舎	部屋番号	面積	稼働率
総合校舎 4 号棟	53	112	8%
総合校舎 8 号棟	42	112	8%
総合校舎 4 号棟	52	90	12%
総合校舎 4 号棟	54	117	20%
教育学部 2 号館	2101	446	20%

(図3) 稼働率が20%以下の講義室一覧 (2014年度施設環境部調査)

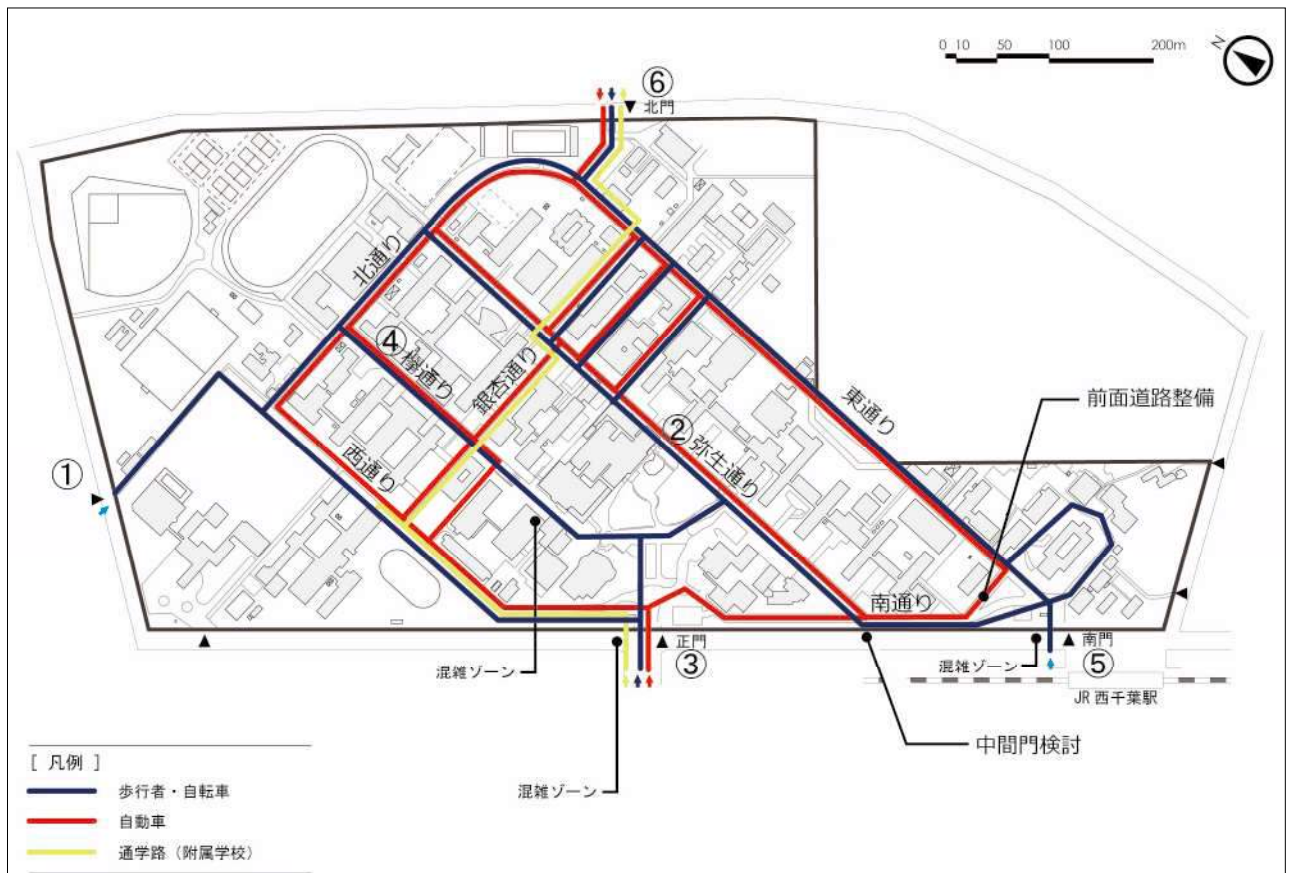


(図1) 部局別講義室の面積分布



(図2) 講義室稼働率毎の面積分布

2-1 交通動線



交通動線図

■ CMP2012 からの変化

- ・2012年：西千葉キャンパスの「通り」名称を公募し、各通り名称をつけた。
- ・2016年：松韻会館整備に伴い前面道路を整備し、歩車分離。交通動線の混雑を和らげた。

■ 現状・課題

西千葉キャンパスには7か所の門があり、自動車の進入は正門と北門に限られている。南門はJR西千葉駅に直近した門で教職員、学生の出入りが最も多い。

- ・自動車が中心部にも乗り入れている。
- ・歩行者、自動車、自転車の動線分離が十分に図られていない。交通事故も発生している。
- ・南門で歩行者と自転車の動線が錯綜する。
- ・構内に大型バスの停車スペースがない。

■ 検討の方向

- ・歩車分離、交通ルートの見直し
- ・自動車、自転車乗入禁止ゾーン
- ・自転車と歩行者の通行分離
- ・正門と南門の間に中間門



①通用門



③正門



②弥生通り

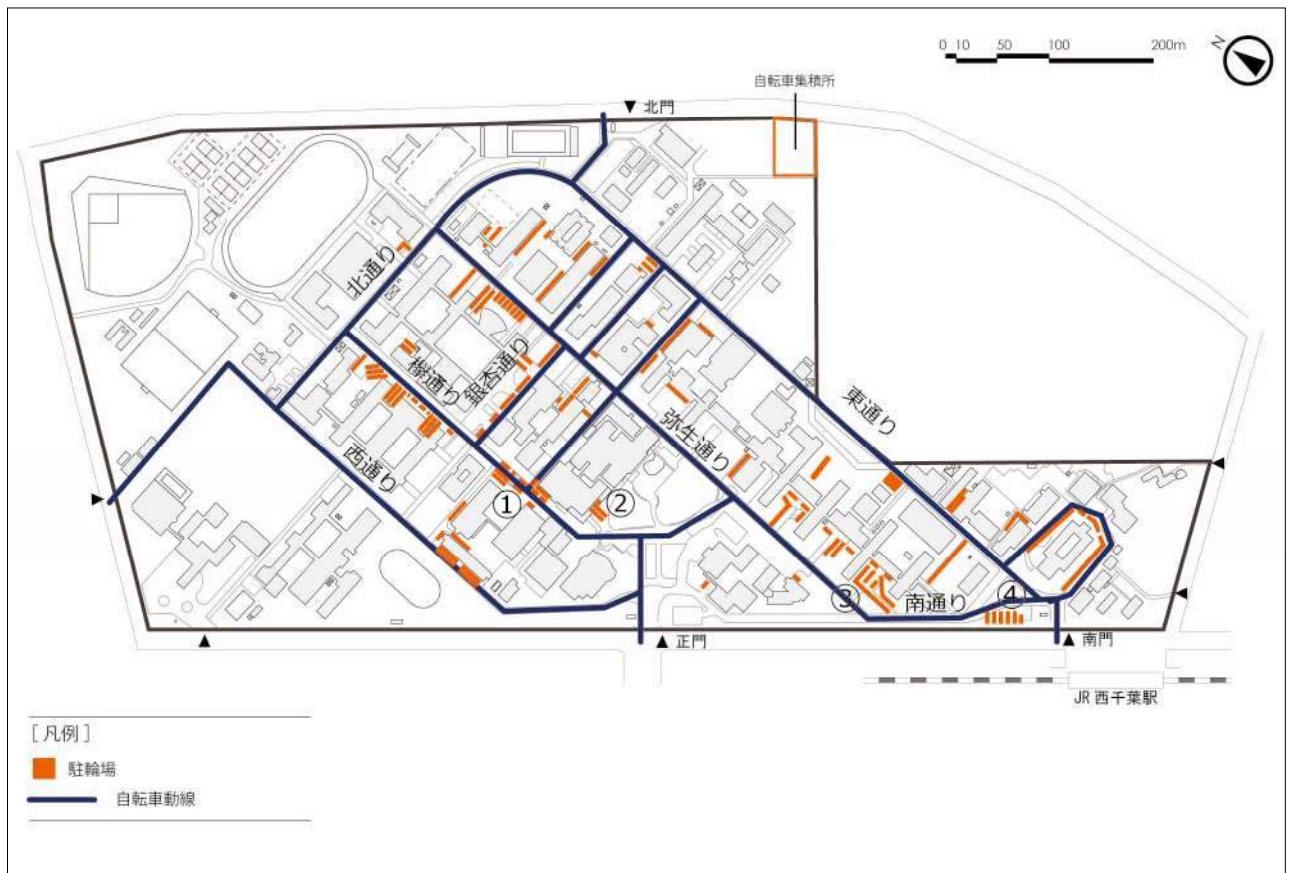


④櫛通り



⑥北門

2-2 駐輪場



駐輪場分布図

施設環境部データより
平成 28 年 11 月

■ CMP2012 からの変化

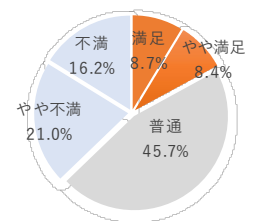
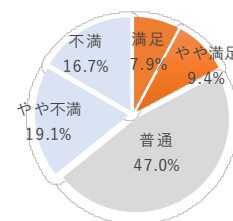
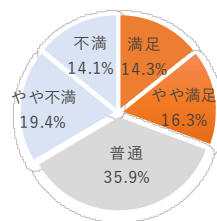
- ・南門駐輪場を増設
- ・アメニティアンケートによる満足度の向上

■ 現状・課題

3810 台数の駐輪場が、西千葉キャンパス全体に分散配置されている。総合校舎、厚生施設廻り、南門周辺など時間帯によって駐輪枠を超える自転車が溢れる場所がみられる。アメニティアンケートでは、約 34% が駐輪場の場所について、約 36% が駐輪場の数について、約 37% が自転車の数についてそれぞれ不満を感じている (図 1～図 3)。厚生施設周辺の空間に自転車が集中し、安全性、美観の観点から問題となっている。自転車の絶対数が多い。駐輪管理システムが十分でない。

■ 検討の方向

- ・自転車乗り入れ禁止ゾーン
- ・JR 西千葉駅駐輪場との連携



(図 1) 駐輪場の場所について (図 2) 駐輪場の数について (図 3) 自転車の数について



①厚生施設前駐輪場



②附属図書館前駐輪場

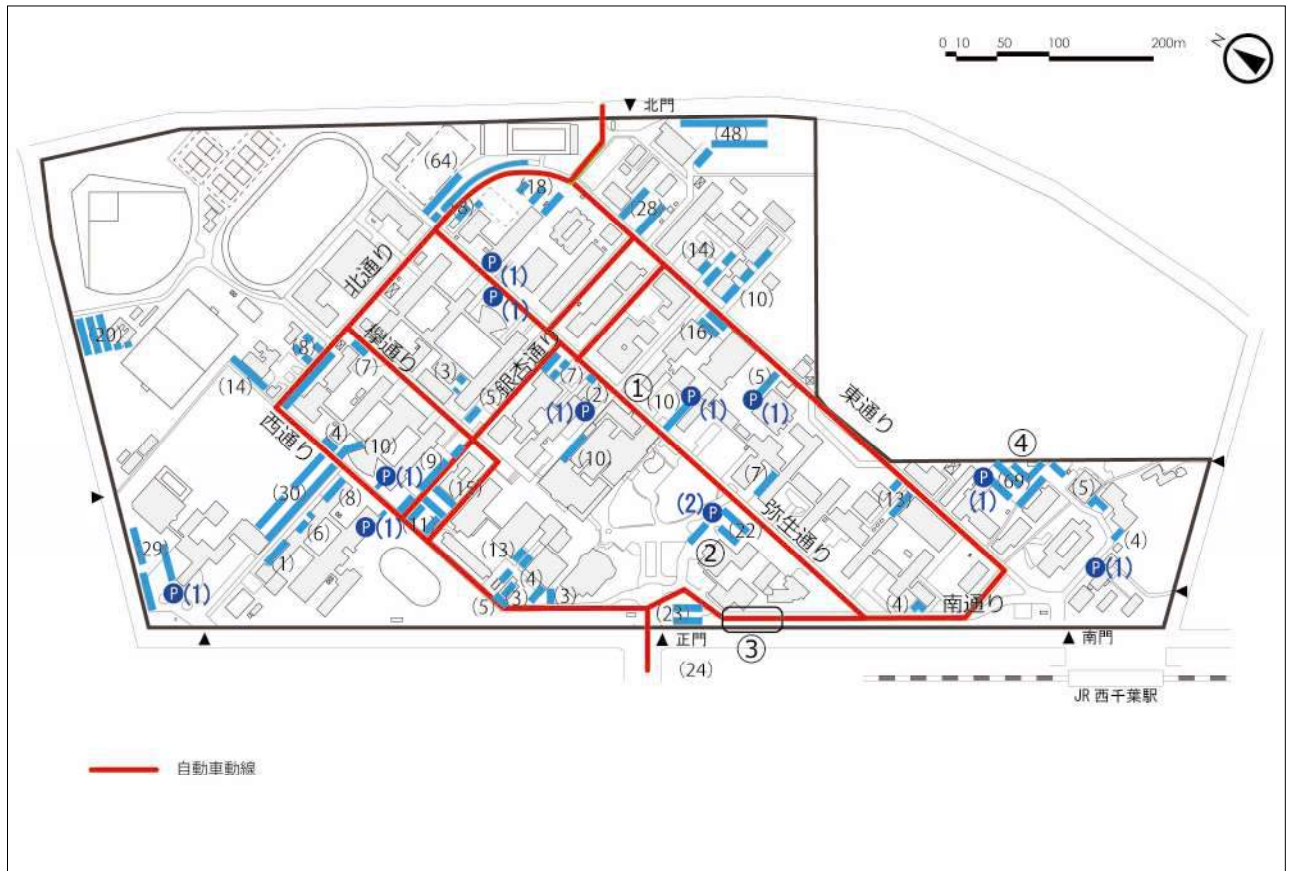


③工学部 4 号棟前駐輪場



④南門駐輪場

2-3 駐車場

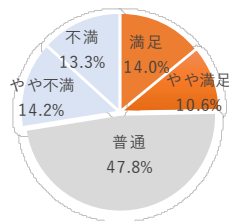


駐車場分布図

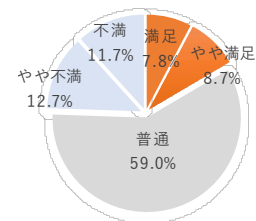
施設環境部データより
平成 28 年 11 月

■ CMP2012 からの変化

- ・ 2016 年：松韻会館整備に伴い前面道路を整備し、交通対策を改定した。
- ・ 36 箇所 554 台 (2012) →
35 箇所 612 台 (2016)



(図 1) 駐車場の場所について



(図 2) 駐車場の数について

■ 現状・課題

西千葉キャンパスには 35 箇所 612 台の駐車場があり、キャンパス全体に分散配置されている。アメニティアンケートでは約 28% が駐車場の場所に不満を感じており、約 24% が駐車場の数に不満を感じている。

- ・ 歩行者中心とすべきゾーンに駐車場が設置されており、結果としてキャンパス中心部への自動車進入を許している。

■ 検討の方向

- ・ 車両通行ルートの見直し
- ・ 自動車乗り入れ禁止ゾーン



①工学部 15 号棟前駐車場



②大学本部横駐車場

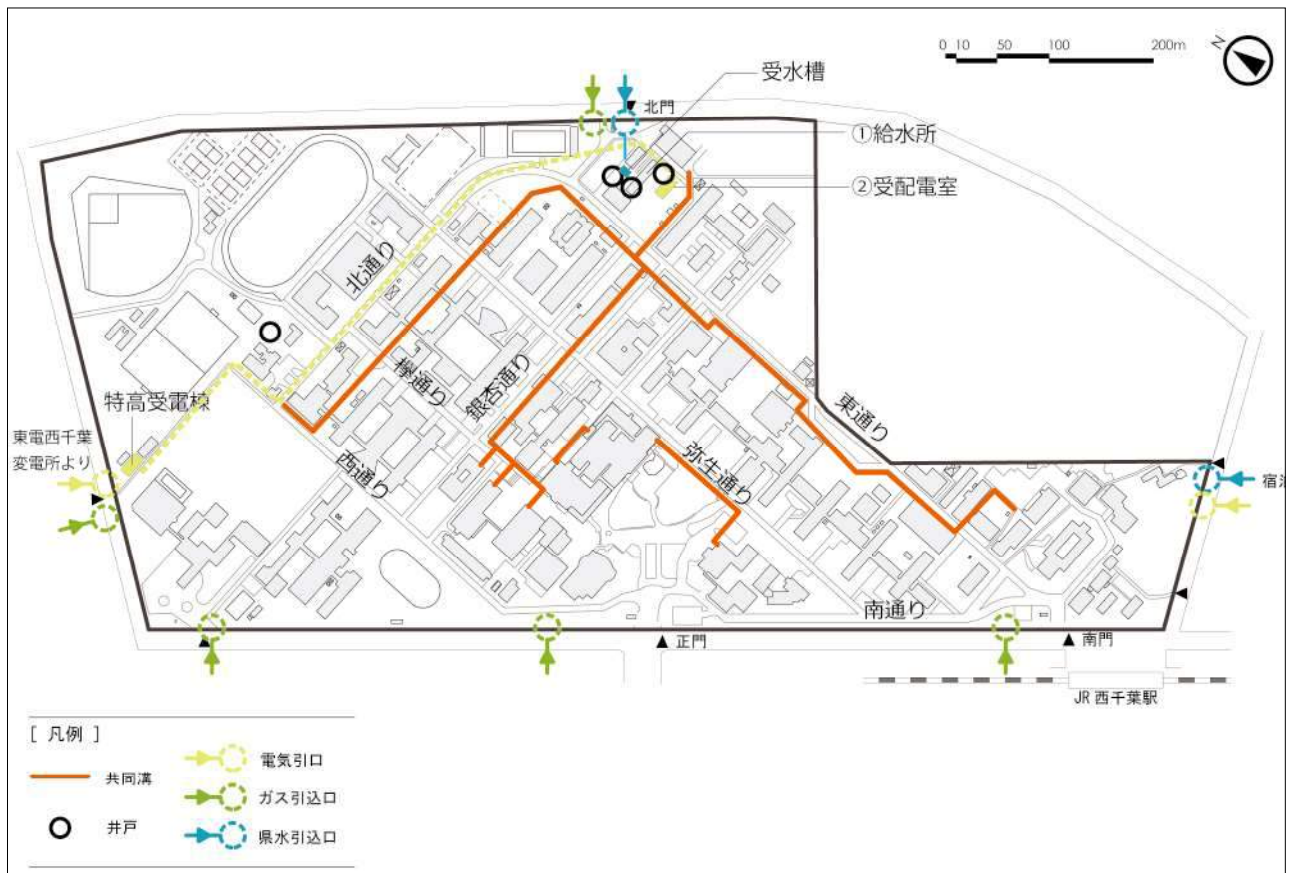


③大型バスの停車の現状



④環境リモセン裏駐車場

2-4 基幹設備



基幹設備図

施設環境部データより
平成 28 年 11 月

■ CMP2012 からの変化

- ・ 共同溝内の空調用のガス管を撤去し、給水管を設置する工事を随時行っている。
(2016 年～ 2020 年の 5 か年計画)

■ 現状・課題

西千葉キャンパスの共同溝の設置は一部にとどまっております、その他の電気、ガス、上下水道のインフラ設備は大地震の発生時には被害を受ける可能性があります。

■ 検討の方向

- ・ 維持管理コストの低減を図る共同溝の段階的整備手法
- ・ 修繕や設置期間と場所など管理の記録のデータ化
- ・ 災害に強い基幹設備



①給水所

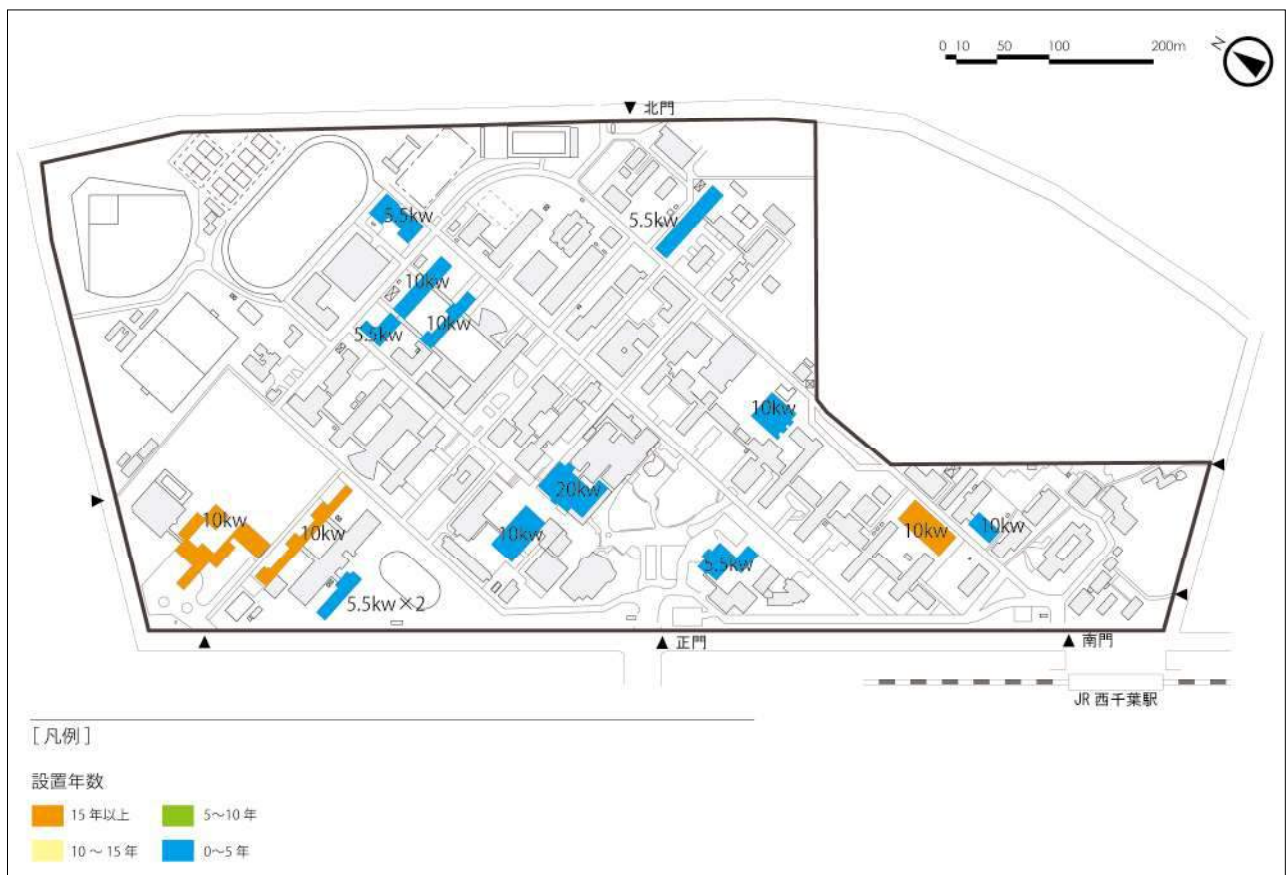


②受配電室

(表) 基幹設備の現状と検討の方向

	現状	検討の方向
共同溝	不要暖房管を撤去すれば、スペース的には余裕がある。全ての建物には接続していない。	既存共同溝を利用することを基本とし、再開発計画に応じて増設・変更を行うものとする。
泉水	メインルートはほぼ共同溝内であるが、ポンプ室から共同溝までが部分的に埋設となっている。	共同溝を増設しポンプ室から共同溝までを共同溝内配管として計画。
井水	メインルートの大半が埋設配管であるため、泉水と同ルートの共同溝内配管	泉水と同ルートの共同溝内配管で計画。
ガス	埋設配管	現状通りとする。
電力	ほぼ埋設配管である。	共同溝内に敷設する。

2-5 エネルギー消費量・CO₂ 排出量・創エネ



太陽光パネル分布図

施設環境部資料より

■ CMP2012 からの変化

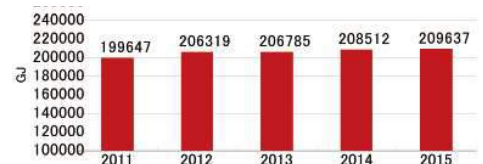
- ・年間エネルギー消費 (GJ)
245,211(2010) → 209,637(2015)
- ・年間エネルギー消費量原単位 (MJ/m²)
1,048(2010) → 851(2015)
- ・年間 CO₂ 排出量 (t)
10,236(2010) → 10,758(2015)
- ・年間 CO₂ 排出量原単位 (t-CO₂/m²)
43.8(2010) → 43.7(2015)
- ・2012(平成 24)年に 45.5KW
2014(平成 26)年に 57.5KW
の太陽光発電設備を設置

■ 現状・課題

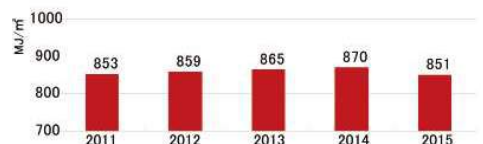
- 西千葉キャンパスは 2015 年度に年間 209,637GJ のエネルギーを消費しており (図 1)、年間 39,907t の CO₂ を排出している (図 3)。
- ・太陽光発電設備が 14 カ所 133kw 設置されている。

■ 検討の方向

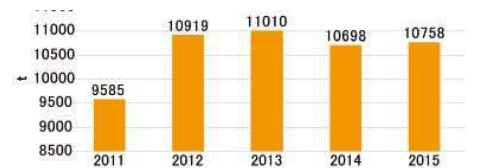
- ・太陽光発電設備など自然エネルギー活用の具体的方策
- ・CASBEE 導入
- ※ CASBEE (Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency) 建築環境総合性能評価システムの意味



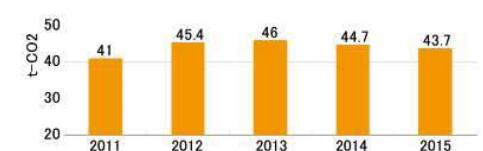
(図 1) エネルギー消費量 (GJ)



(図 2) エネルギー消費量原単位 (MJ/m²)

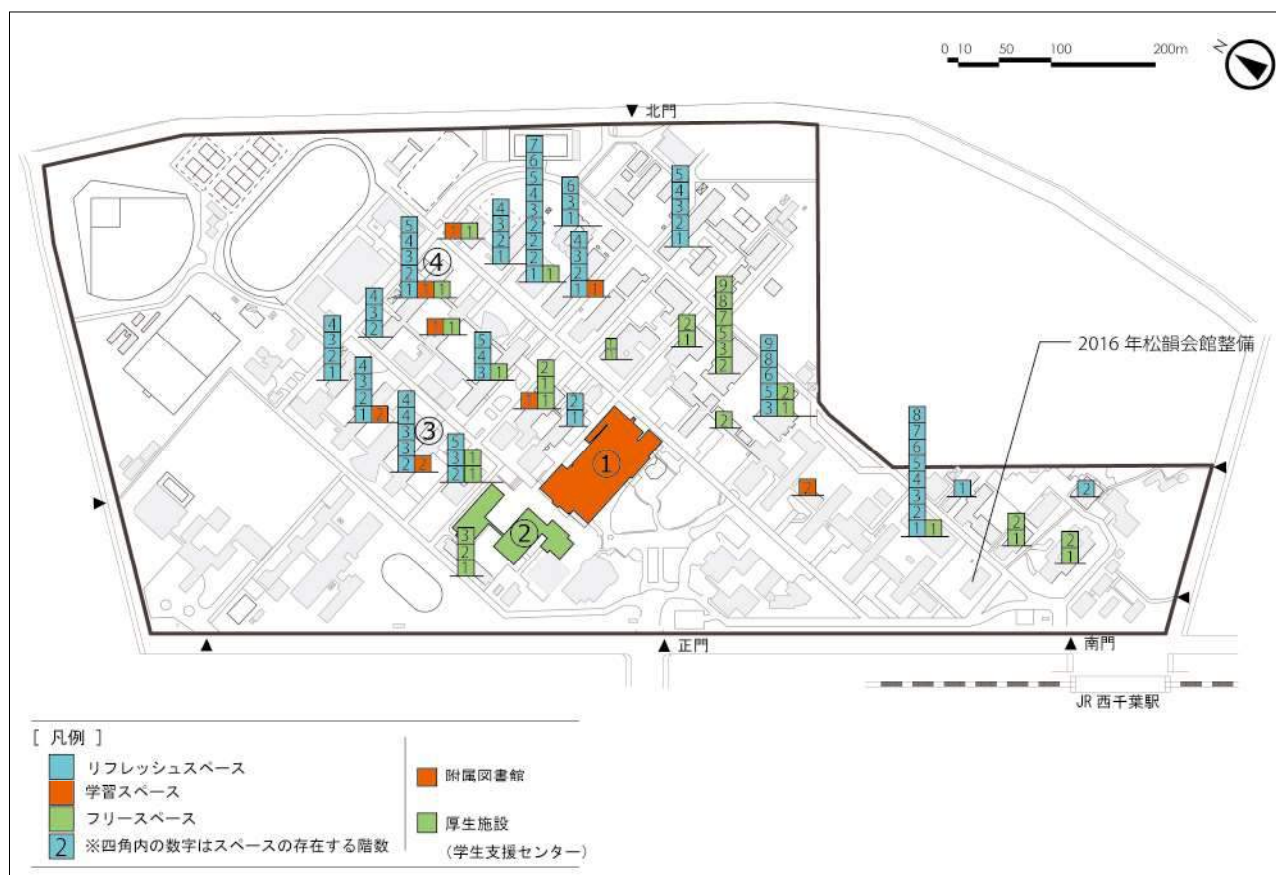


(図 3) CO₂ 排出量 (t-CO₂)



(図 4) CO₂ 排出量原単位 (t-CO₂/m²)

3-1 学生スペース・交流スペース



学生・交流スペース分布図

キャンパス整備企画室調査より
平成 28 年 11 月

■ CMP2012 からの変化

- ・松韻会館を整備した (2016)
- ・満足度向上 11.2%(2012) → 21.4%(2016)

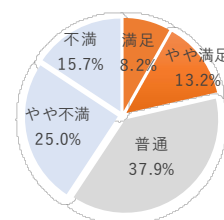
■ 現状・課題

リフレッシュスペース 69 カ所、学習スペースが 8 カ所、フリースペース 31 カ所、附属図書館、学生支援センターがキャンパス内に分散配置されている。アンケートでは約 41% が屋内休憩・交流スペースに不満を感じている。(図 1)

- ・リフレッシュスペースの配置のバランスがとれていない。
- ・昼休みに講義室で昼食をとる学生が多く講義室等のゴミ問題がある。
- ・学生や教職員・学外者の交流スペースが不足している。

■ 検討の方向

- ・教育、研究施設だけではない学びの場を形成するため、学生スペース充実
- ・学習スペースの充実
- ・学生や教職員、学外者の交流の場
- ・研究者交流スペース



(図) 屋内休憩スペースの満足度



①附属図書館



②総合学生支援センター

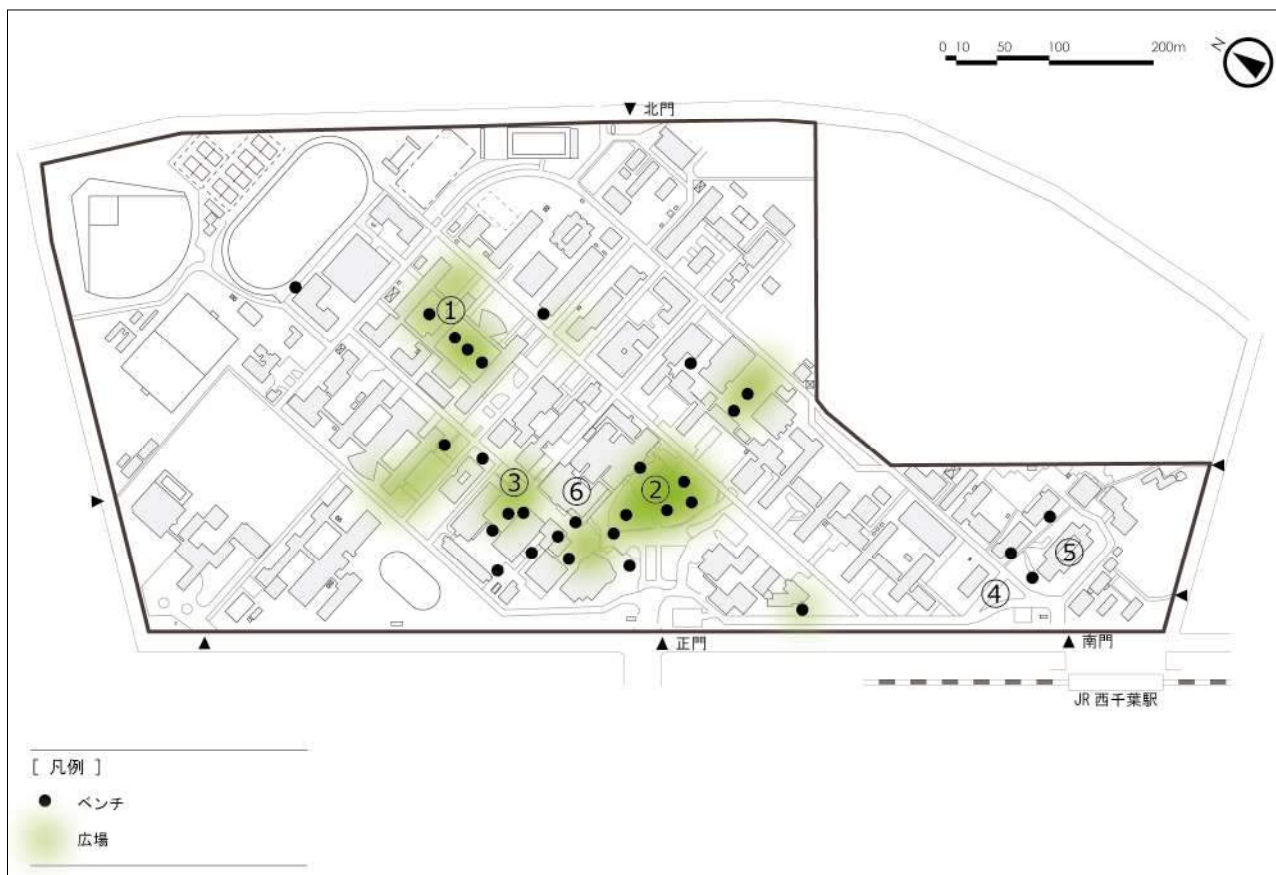


③自主学习スペース (教育学部)



④リフレッシュルーム (総合校舎)

3-2 広場・オープンスペース



広場・オープンスペース分布図

キャンパス整備企画室調査より
平成28年11月

■ CMP2012 からの変化

- ・2013年コミュニケーション広場の活用案を考える学生アイデアコンペを行った。
- ・2016年松韻会館の改修により屋外オープンスペースが生まれた。
- ・2014年附属図書館の改修にともない屋外オープンデッキスペースが生まれた。

■ 現状・課題

広場はかたらいの森、総合校舎中庭等があり、ベンチが31カ所ある。
アメニティアンケートでは約34%が屋外休憩スペースに不満を感じている。

■ 検討の方向

- ・アプローチ（門）の直近に広場を配置
- ・コミュニケーション広場の整備実現
- ・松韻会館前のオープンスペースの活用方法
- ・屋外家具の設置検討
- ・中庭や屋上などの屋外空間の整備



①総合校舎中庭



②かたらいの森と屋外家具



③コミュニケーション広場



④松韻会館



⑤中庭（工学部1号棟）



⑥附属図書館屋上

3-3 樹木・緑地



樹木・緑地分布図

キャンパス整備企画室調査より
平成 28 年 11 月

■ CMP2012 からの変化

- ・ 2016 年松韻会館の改修と周辺整備により緑地が変更された。
- ・ 記念樹の植樹は CP 室と施設部による事前確認が必要となった。(H25.10.7～)

■ 検討の方向

- ・ 緑化環境（屋外環境・ランドスケープ整備）計画
- ・ 樹木、緑地の維持管理計画（指針）
- ・ 松韻会館と南門の間の緑地整備

■ 現状・課題

西千葉キャンパスの樹木・緑地は豊かであり、かたらいの森、けやき並木、桜並木、菜草園などのランドスケープ資源がある。

- ・ 西千葉キャンパスのアメニティアンケートでは樹木の量・緑地に関する満足度が 2012 年に比べて下がっているものの満足度そのものは高い。(図 1 図 2)
- ・ 現在緑地になっている箇所が十分に管理されていない。
- ・ 樹木、緑地の十分な管理計画がとられていない。



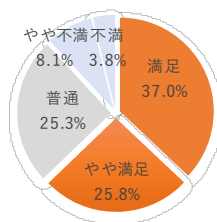
①かたらいの森



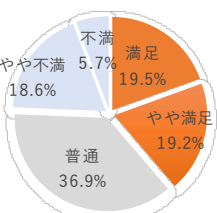
②櫻通り



③弥生通り

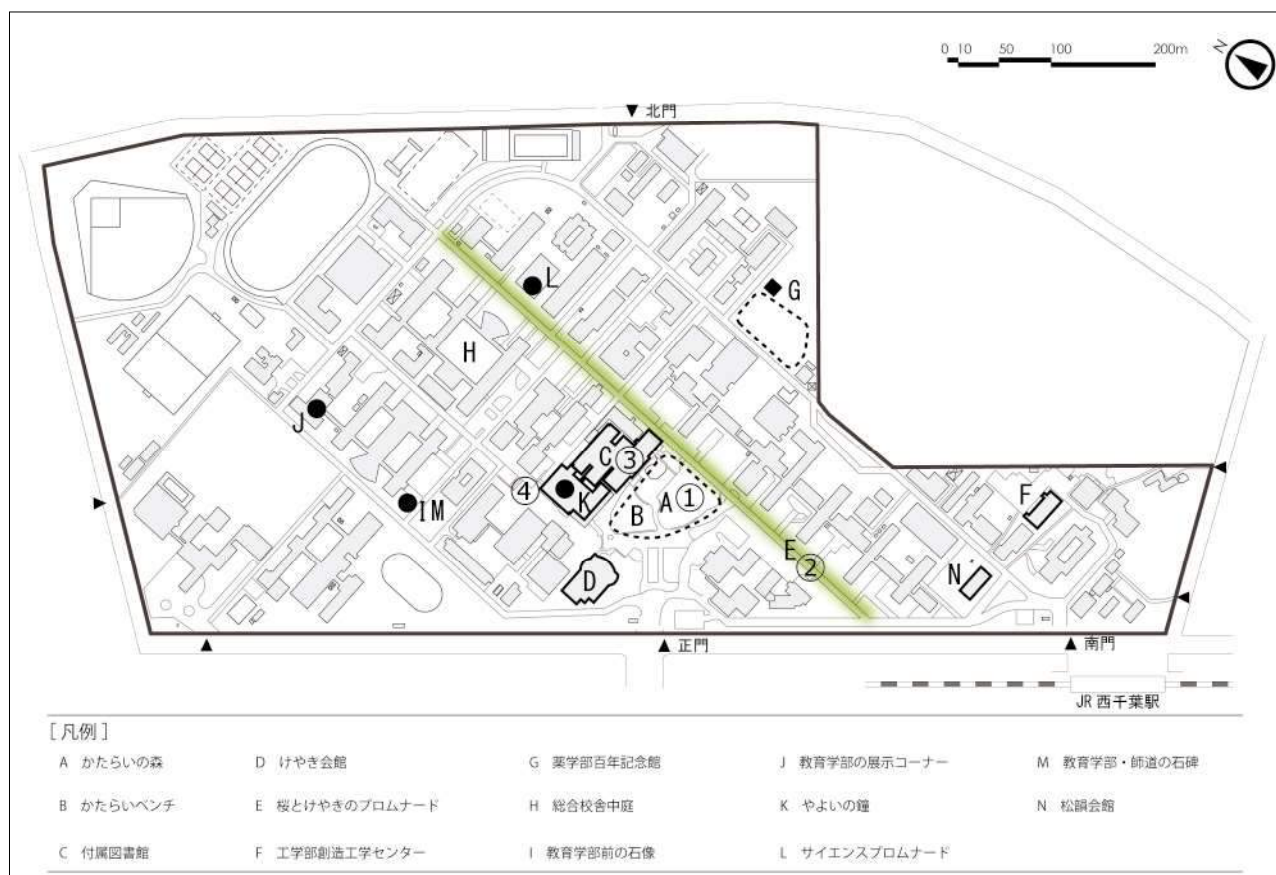


(図 1) 樹木の量について



(図 2) 芝生などの緑地の量について

3-4 シンボル・歴史資源



シンボル・歴史資源分布図

千葉大ホームページ他より
平成 28 年 11 月

■ CMP2012 からの変化

- ・千葉大学ホームページにて「やよいの鐘」等、西千葉キャンパスのシンボルとなりえるものについて認知活動を行っている
- ・薬学部の移転に合わせて、薬学部棟旧校舎屋根飾りも移設した。

■ 現状・課題

西千葉キャンパスは、建築物等の歴史資源に乏しい。

- ・シンボルとなるものが少ない
- ・やよいの鐘のシンボル性を十分に活かし切れていない

■ 検討の方向

- ・歴史資源を活用したキャンパス整備
- ・シンボリックなもの（ランドスケープ、アイキャッチ等）



①かたらいの森



②桜とけやきのプロムナード (弥生通り)

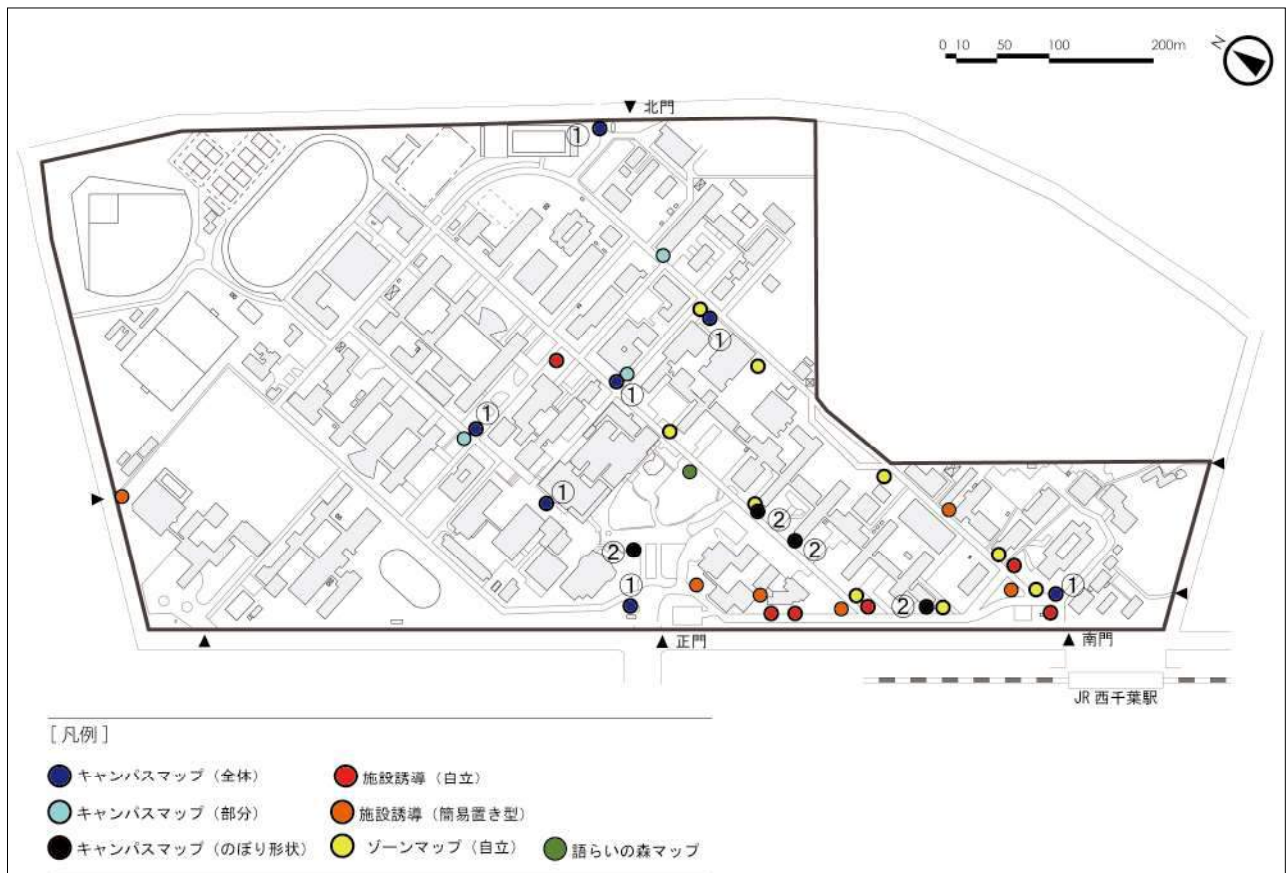


③附属図書館



④やよいの鐘

3-5 サイン・情報掲示



サインマップ

キャンパス整備企画室調査より
平成 28 年 11 月

■ CMP2012 からの変化

- ・ 2014 年西千葉キャンパスの既存サインの現状と課題まとめ今後の指針となる資料作成を行った。
- ・ 満足度が大きく向上し不満足度は減少
満足度 6.6%(2012) → 22.1%(2016)

■ 現状・課題

平成 27 年度より段階的に整備を行っている。キャンパス全体マップは、正門、南門、北門、他 7 か所に設置されている。国際化に対応した 2 か国語表記でサインの再整備を行っている。
インフォメーションセンターを松韻会館 1 階に設置している。未だ不満足度が 38.5% と高く、今後の改善が必要。

■ 検討の方向

- ・ 情報発信のための掲示手法（看板等）のあり方
- ・ 動線計画見直しの交通サインへ反映



① 2 か国語表記の総合案内 (計 7 か所)



② 通り沿いののぼり形状の総合案内



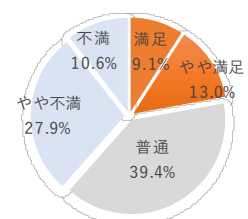
建物名称



施設誘導マップ

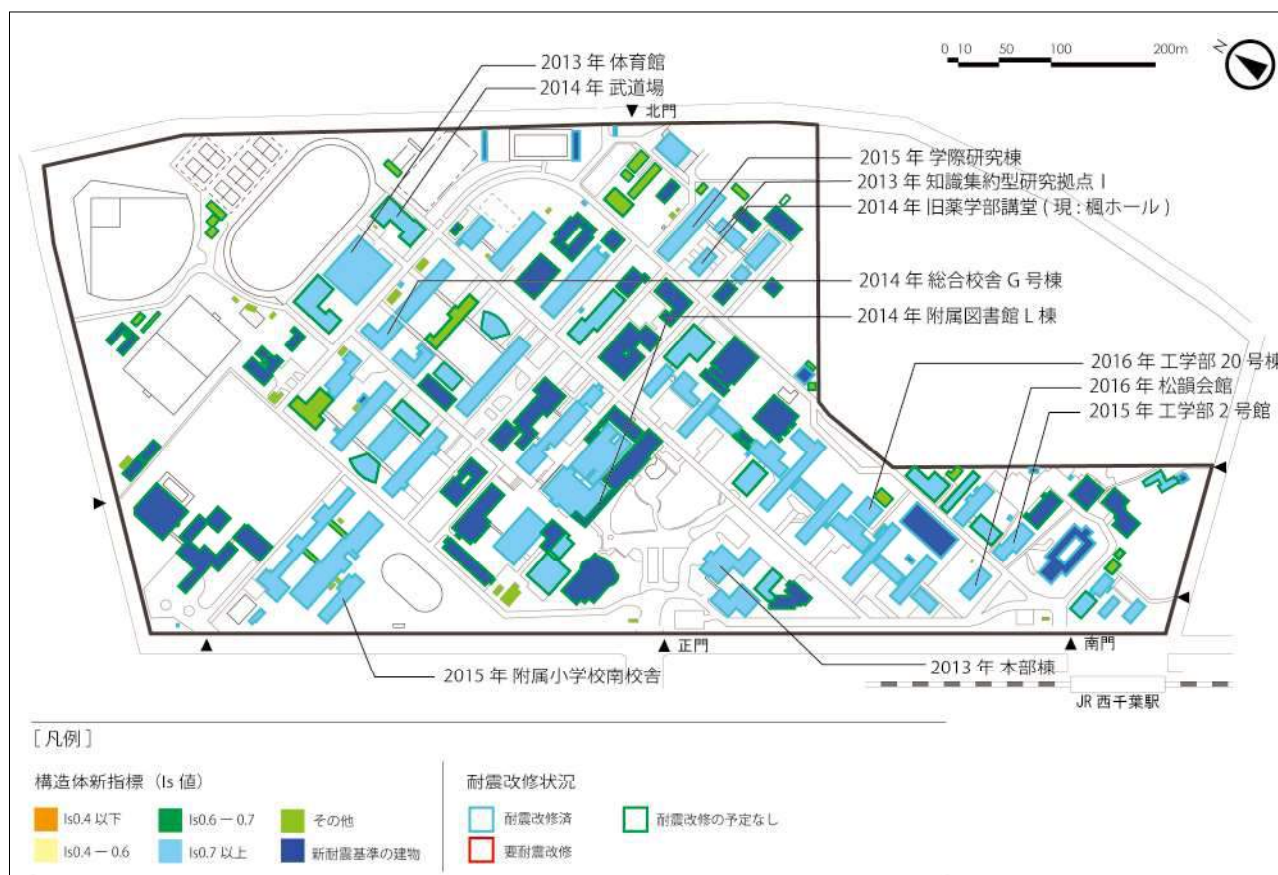


情報掲示



(図) 道案内板の分かりやすさについて

4-1 耐震改修



構造耐震指針 (Is 値) 別・耐震改修状況別配置図

平成 28 年度施設環境部データ集より

■ CMP2012 からの変化

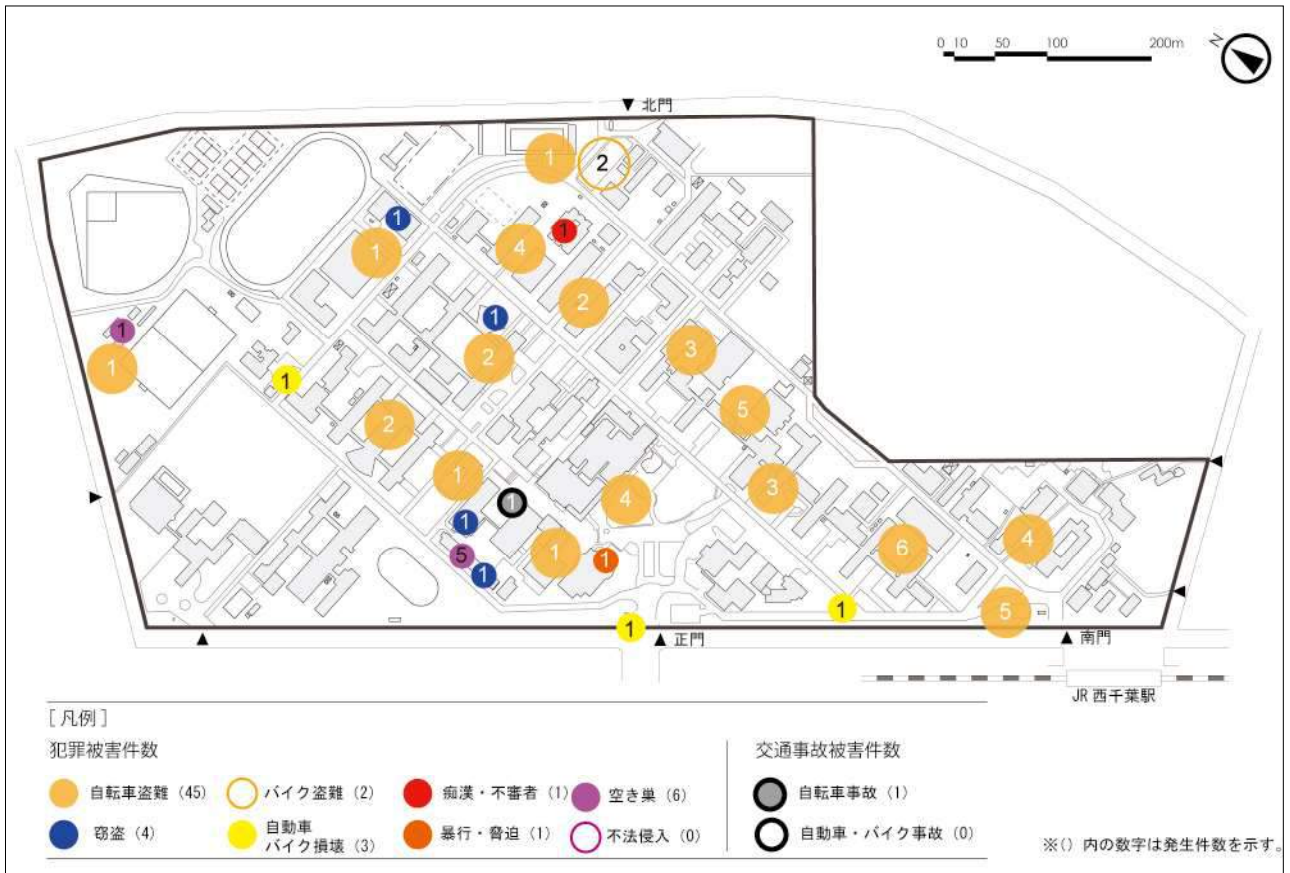
- ・ 2012 年 (平成 24) 年: 知識集約型研究拠点 1
- ・ 2013 (平成 25) 年: 体育館、本部棟
- ・ 2014 (平成 26) 年: 旧薬学部講堂 (現: 楓ホール), 附属図書館本館 L 棟、武道場、総合校舎 G 号館、附属小学校南校舎
- ・ 2015 (平成 27) 年: 学際研究棟、工学部 2 号館
- ・ 2016 (平成 28) 年: 松韻会館、工学部 20 号棟 の耐震改修工事が完了した。

■ 現状・課題

1981 年以前の旧耐震基準による耐震基準による建物のうち、耐震化対象建物は 134,287㎡で保有面積全体の 55.2%である。これらは平成 27 年度までに全て耐震改修が済んでおり、構造耐震指標である Is 値が著しく劣る 0.4 以下の建物は存在しない。

■ 検討の方向

4-2 犯罪・事故



犯罪・事故マップ

犯罪・事故等の記録資料より
2015年度および2016年度

■ CMP2012 からの変化

- ・ 犯罪数はほぼ同等
- ・ 交通事故は減少
- ・ 満足度は2012年からほぼ変わらず。
7.0%(2012) → 10.8%(2016)

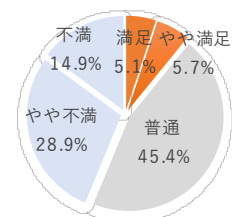
■ 検討の方向

- ・ 建物セキュリティ確保のための標準仕様の策定

■ 現状・課題

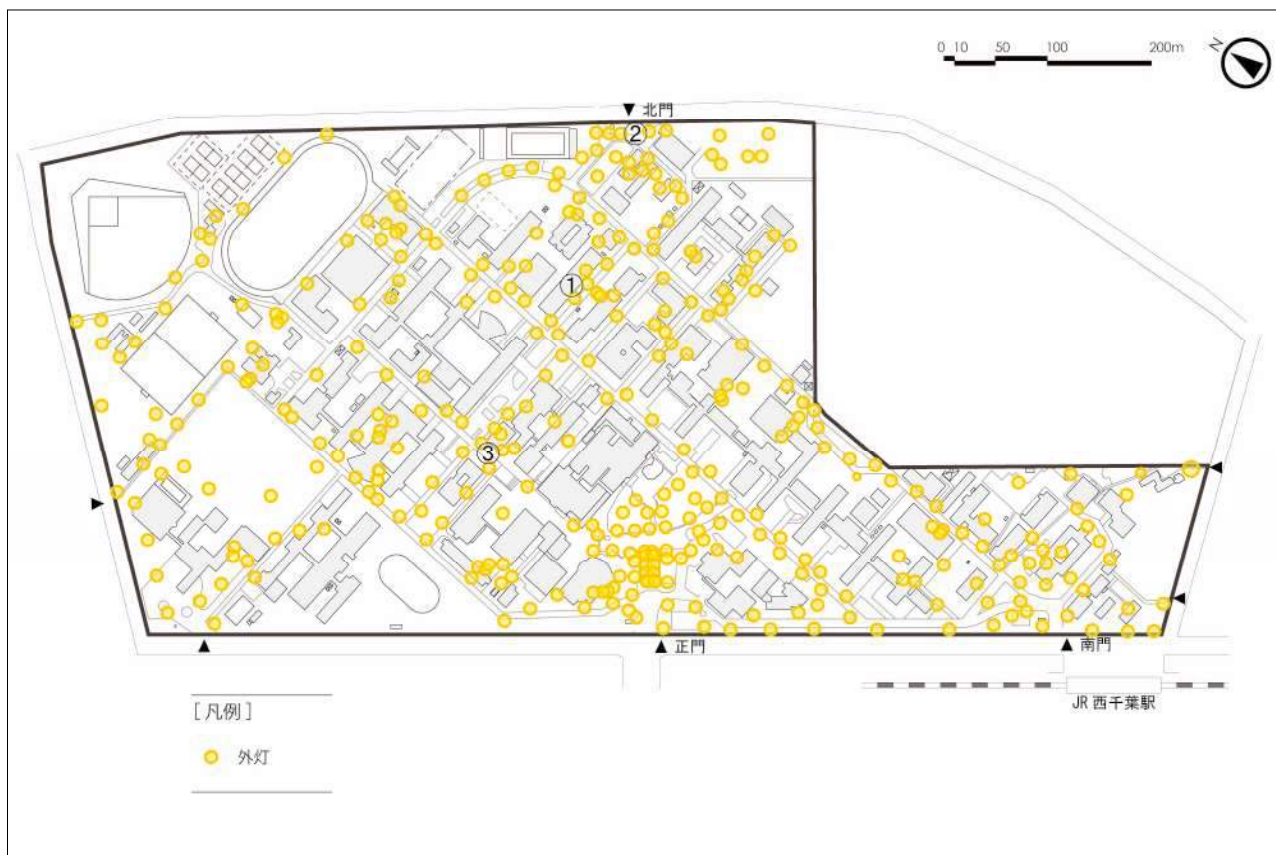
西千葉キャンパスでは、62件の犯罪、1件の交通事故が発生しており（平成27年度）犯罪数はほぼ同数、交通事故は減少（平成23年度比較）している。

犯罪のうち最も多いのは自転車盗45件で、キャンパス内の自転車置き場所に関係なく発生している。アメニティアンケートでは不満度が43.8%と高く、対策を考慮する必要がある。



(図) 防犯上危ない場所の対策について

4-3 外灯



外灯分布図

施設環境部資料より(平成29年5月)

■ CMP2012 からの変化

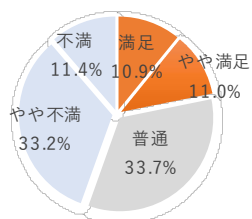
- ・外灯に関する満足度
12.4%(2012) → 21.9%(2016)

■ 現状・課題

主要な道路の外灯、照度は比較的十分であるが、教育学部音楽棟付近など一部に暗がりが生じている部分がある。アンケートでは、外灯の明るさに対し、約45%が不満を感じている。外部空間の照度を調査し、外部照明計画により安全性の確保を推進している。

■ 検討の方向

- ・外灯の増設



(図) 外灯の明るさ



①理学部1号館

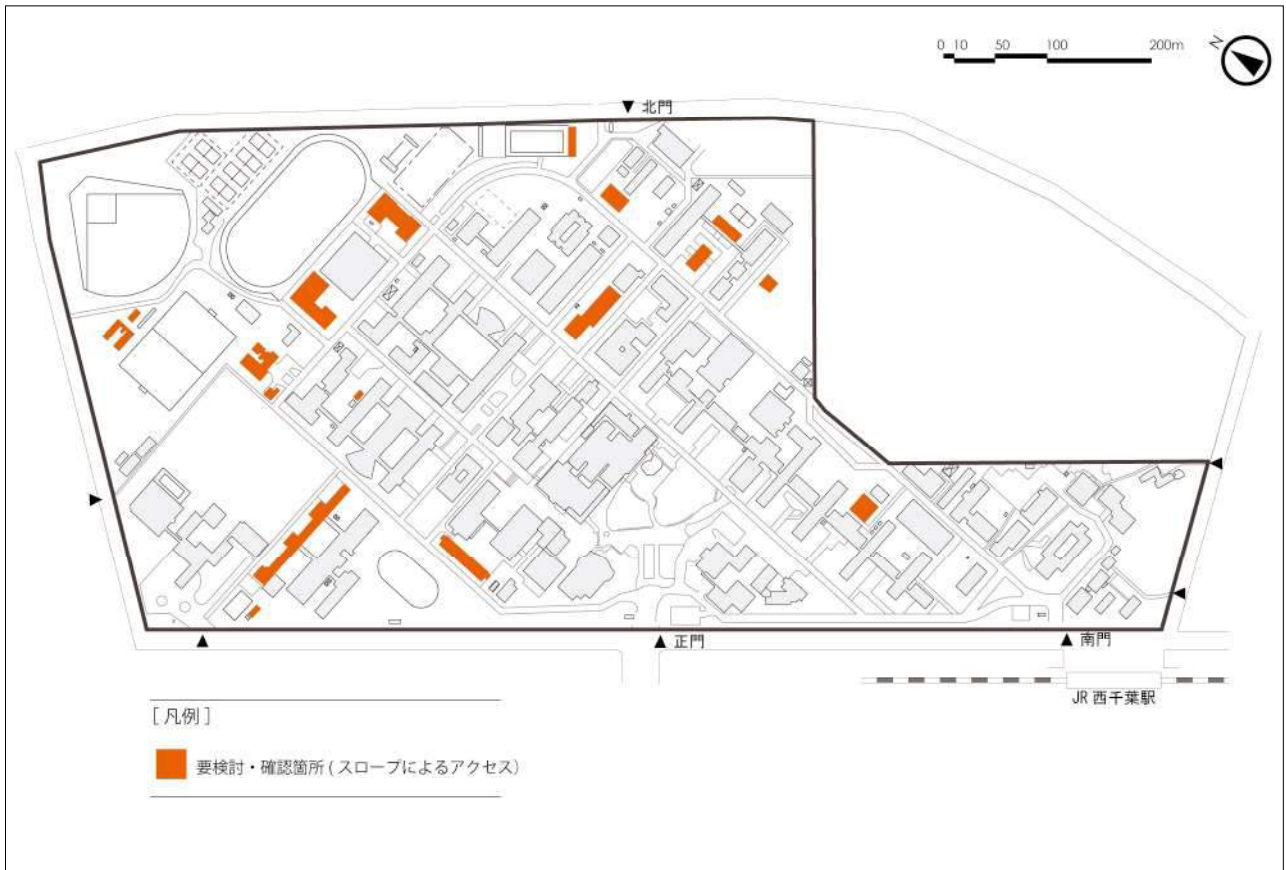


②サイエンスパークセンター



③文学部・法政経学部3号館

4-4 バリアフリー

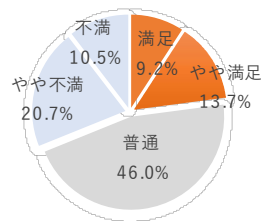


バリアフリーマップ

施設環境部調査 平成 29 年 5 月

■ CMP2012 からの変化

- ・満足度向上 14.5%(2012) → 22.9% (2016)



(図) バリアフリーについて

■ 現状・課題

西千葉キャンパスでは、身障者エレベーター、身障者トイレ、スロープの整備を推進中である。

- ・バリアフリー整備を推進中であるが、十分ではない。
- ・単なる斜路を設けただけの不適切な整備も見られる。
- ・車椅子利用者にとって、段差や動線の未確保、扉の形状や扉の重量がバリアとなり、学内移動や活動を制限している。

■ 検討の方向

- ・バリアを解消する整備手法（細かな段差の解消・点状ブロック設置など）
- ・ユニバーサルデザイン



身障者用駐車スペース



スロープ+点状ブロック



スロープ（点状ブロックなし）

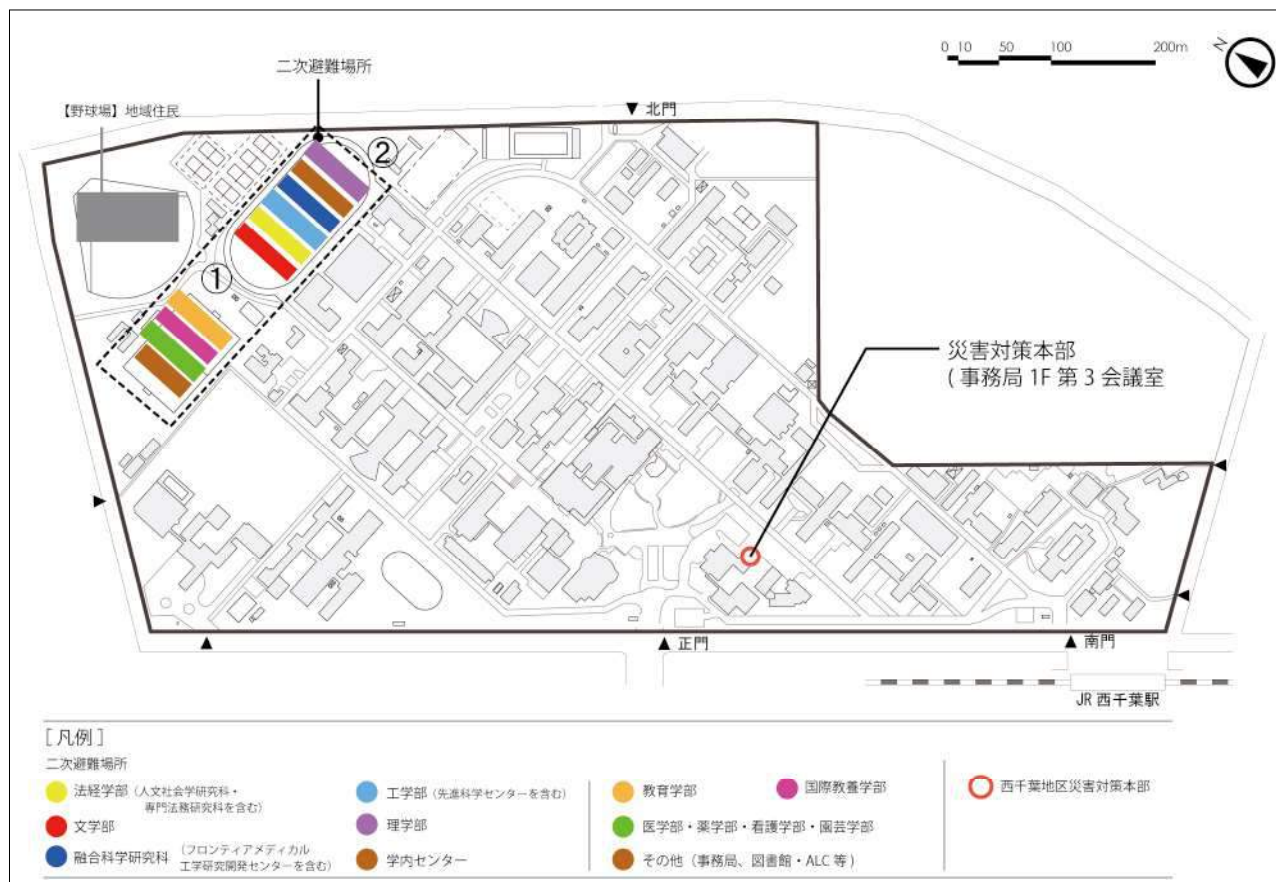


身障者用 EV



身障者用トイレ

4-5 避難場所



避難場所マップ

「千葉大学防災のしおり」より
平成 28 年 11 月

■ CMP2012 からの変化

- ・薬学部が移転となった
- ・新たに国際教養学部が新設された。

■ 検討の方向

- ・災害時の拠点 (構成員用備蓄等を含む)

■ 現状・課題

西千葉キャンパスは、千葉市の広域避難場所に指定されている。「千葉大学震災対策要綱」において二次避難場所としてキャンパス北側の陸上競技場・サッカー場が指定されている。



①二次避難場所 (サッカー場)

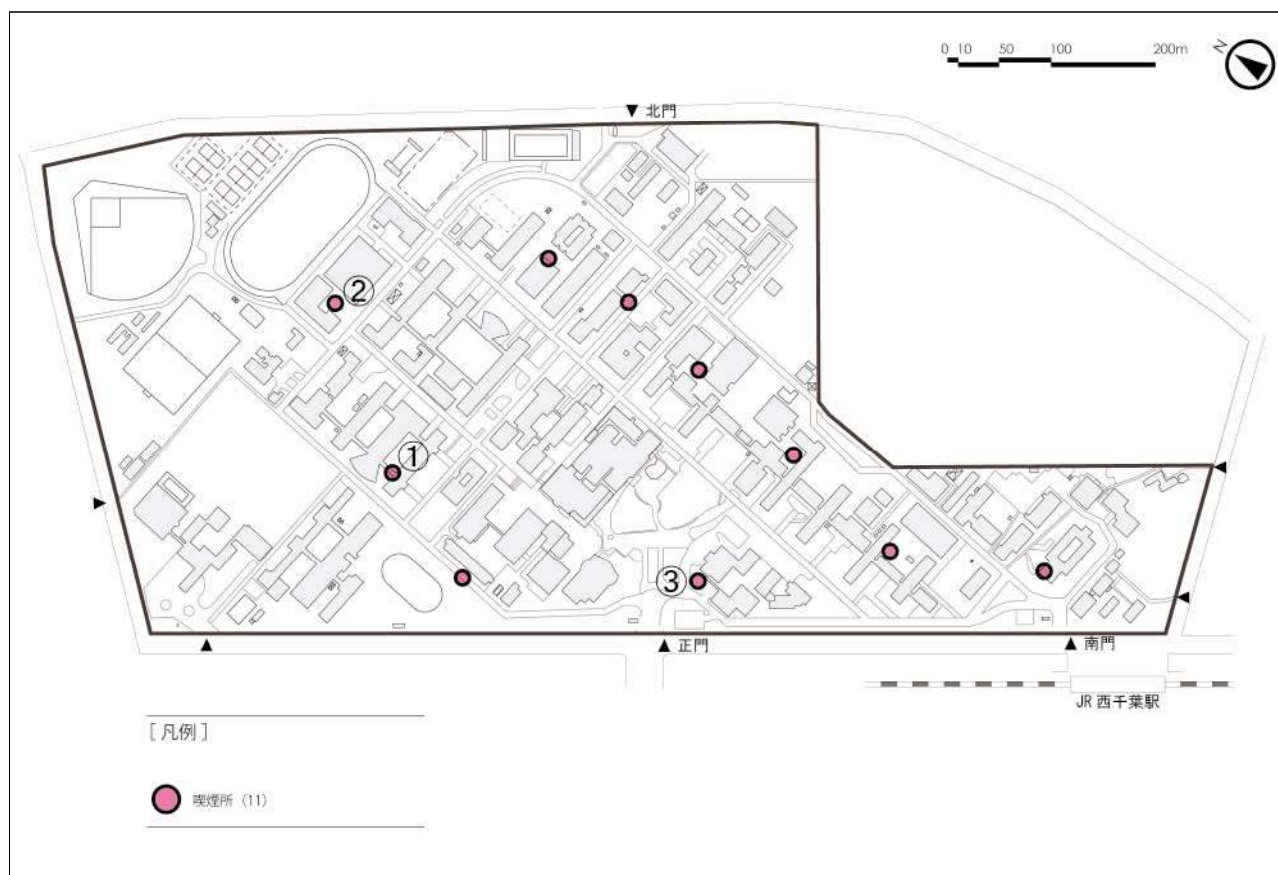


②二次避難場所 (陸上競技場)



広域避難場所サイン

4-6 喫煙場所



喫煙場所分布図

喫煙所マップより
平成 28 年 11 月

■ CMP2012 からの変化

- ・ 18 カ所から 11 カ所に減少
- ・ 喫煙率減少
12.3% (2012 年) → 6.6% (2016 年)

■ 検討の方向

- ・ 全面禁煙を含めたキャンパス敷地内の喫煙のあり方

■ 現状・課題

西千葉キャンパスは、2011 年に指定喫煙場所以外を敷地内禁煙とし、室内は全面禁煙。喫煙場所は屋外に現在 10 カ所
安全衛生管理機構のアンケートによると
亥鼻キャンパス構成員の喫煙率は 6.6%
(444 人 /6705 人※学生+職員)
内訳は、学生 6.1%職員 9.2%である。
・ 単純に喫煙場所を指定しただけで、受動喫煙の対策が不十分。



①教育学部 1 号館周辺

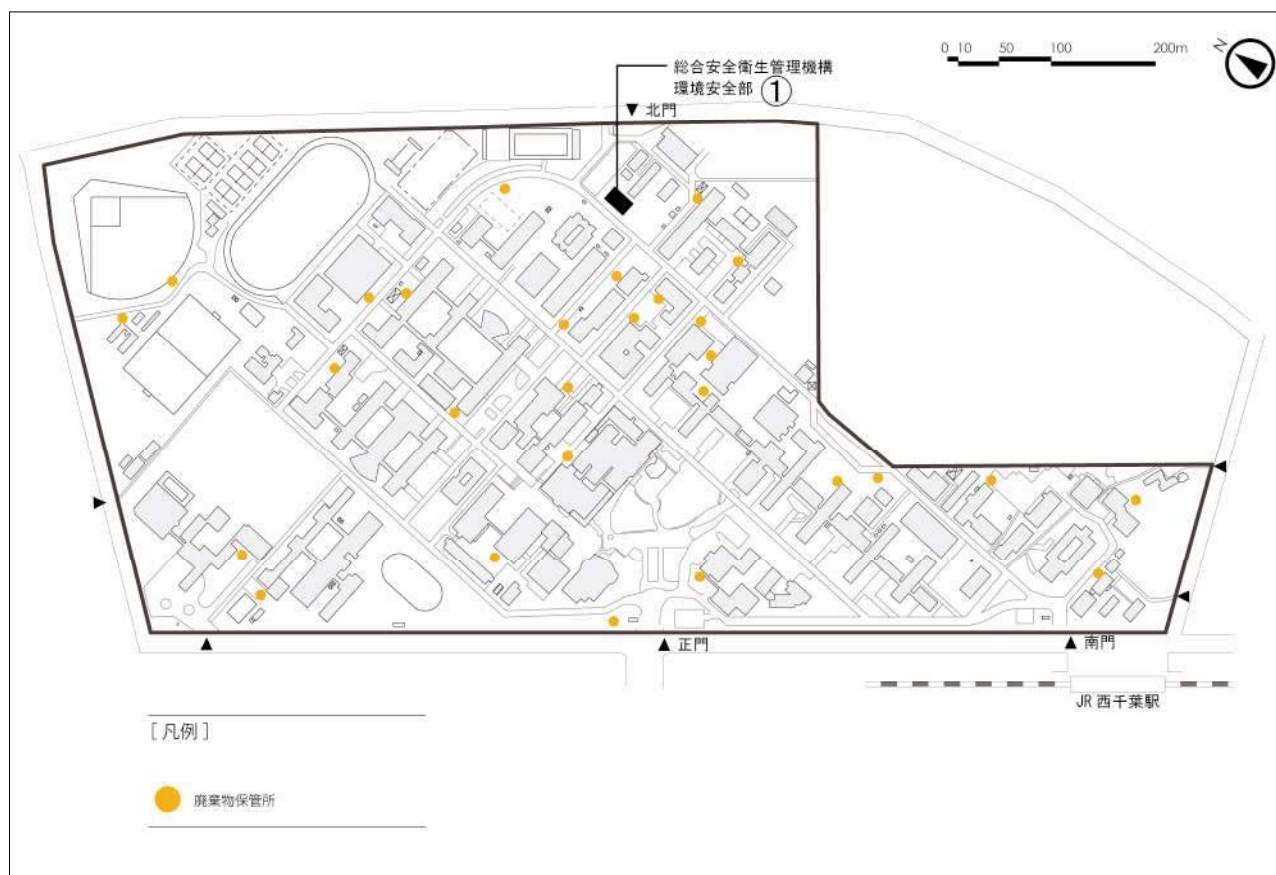


②体育館周辺



③本部棟周辺

4-7 廃棄物



廃棄物保管所マップ

施設総務係資料より

■ CMP2012 からの変化

- ・粗大ゴミ置き場についての不満度
18.1%(2012) → 15.3%(2016) (図 1)
- ・ゴミ置き場の場所の数についての不満度
18.1% (2012) → 16.5%(2016) (図 2)



①総合安全衛生管理機構環境安全部

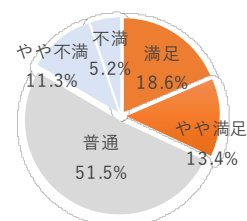
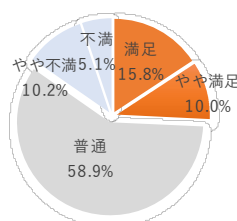
■ 現状・課題

西千葉キャンパスでは、各部局にて、可燃ゴミ・資源物・有害ゴミ・紙ゴミ等に分別し収集している。

また、総合安全衛生管理機構環境安全部にて、実験廃液等の収集一括処理（年 5 回）を行っている。

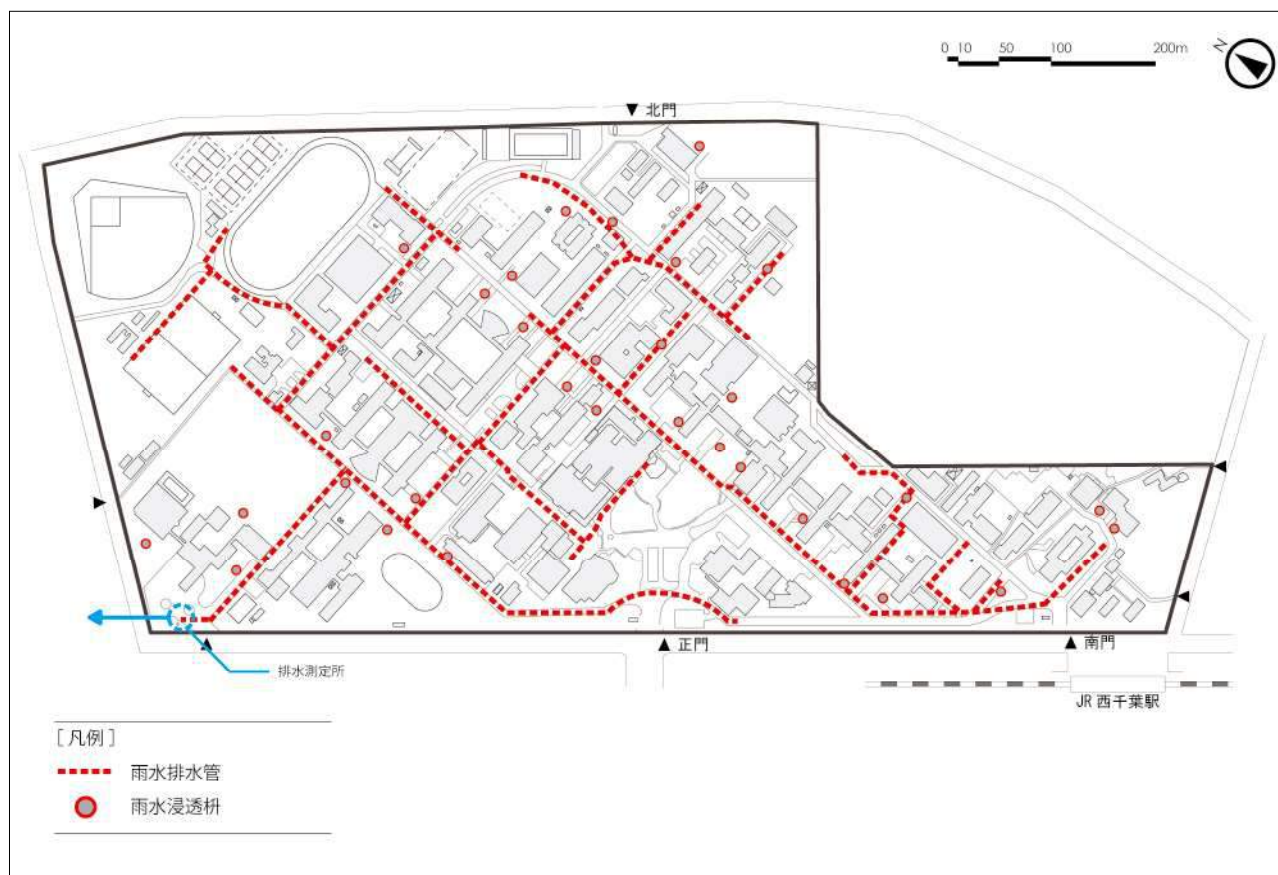
■ 検討の方向

分別の徹底



(図 1) 粗大ゴミ置き場の場所について (図 2) ゴミ置き場の場所の数について

4-8 都市型豪雨



雨水排水経路図

施設環境部データより
平成 28 年 11 月

■ CMP2012 からの変化

■ 検討の方向

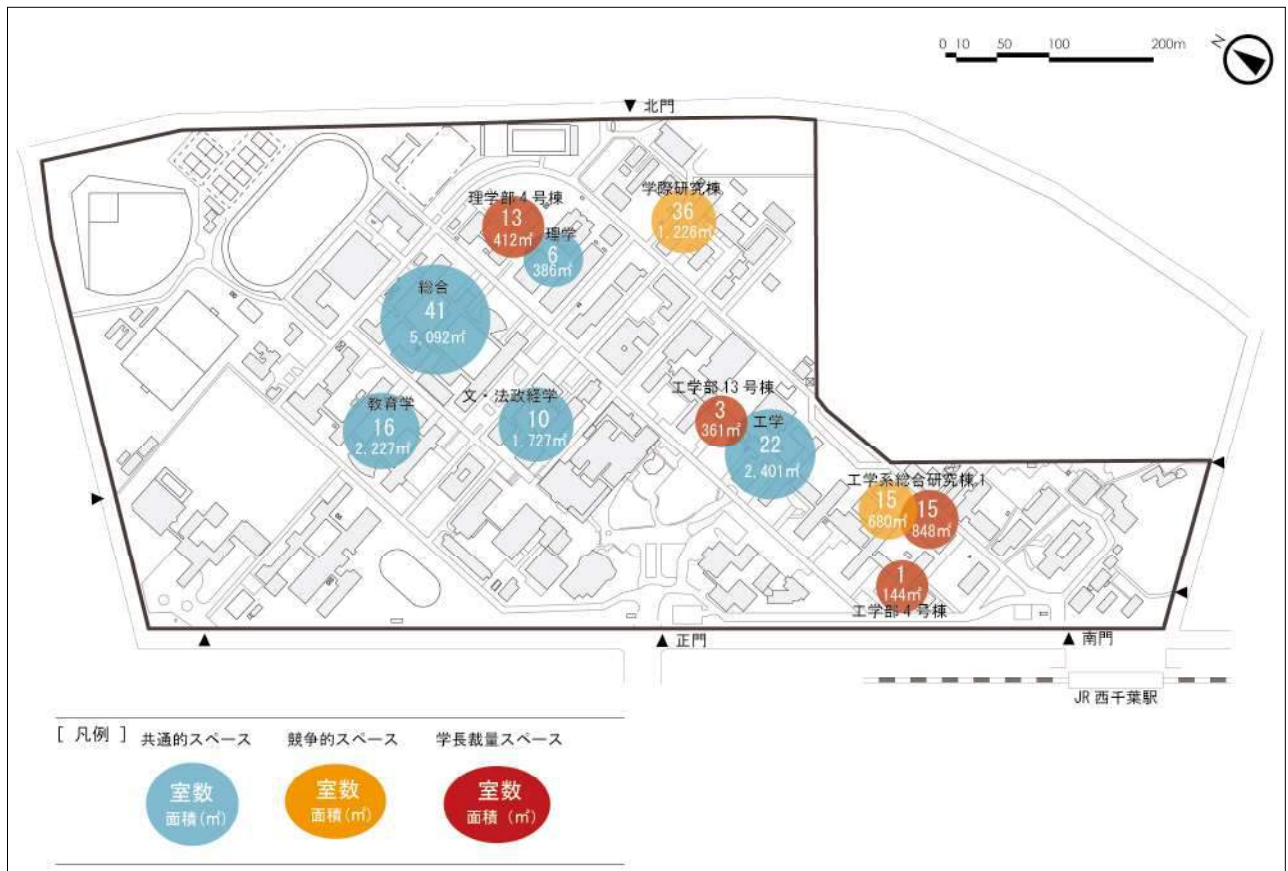
- ・ 雨水排水系の強化
- ・ 水はけの悪い箇所の把握と改善

■ 現状・課題

西千葉キャンパスでは、千葉市水道局による敷地内の浸透枡の設置（32 か所）が進み、都市型豪雨による大きな被害はなく、周辺地域への雨水の流れ出しもない。

その他

5-1 全学共同利用スペース



全学共同利用スペース

施設環境部データより
平成28年11月

■ CMP2012 からの変化

- ・規定を見直し、学長裁量スペースを追加

■ 現状・課題

全学で共同利用するスペースは以下の3つのスペースとなっており、合計 35,567 m²で、内訳は、
共通のスペース 30,131 m²
競争的スペース 4,227 m²
学長裁量スペース 1,209 m²
となっている。

■ 検討の方向

- ・ファシリティマネジメント推進とスペースの有効利用
- ・施設管理体制の見直し
- ・競争的スペースの集約化

その他

5-2 宿舎



宿舎

施設環境部データより
平成 28 年 11 月

■ CMP2012 からの変化

- ・ 2016 年に薫風寮 (RC5 階建) が建設された
- ・ 職員宿舎の廃止 (H26 年度・H28 年度)
- ・ 学生寄宿舍 (睦寮・稲毛寮) の廃止 (H27 年度)

■ 現状・課題

西千葉キャンパス近傍の学生寮は小仲台にあり、無名寮 (定員 90 名) と薫風寮 (定員 170 名) がある。利用率は、

- ・ 無名寮 74.4% (入寮者 67 名 / 定員 90 名)
- ・ 薫風寮 85.9% (入寮者 146 名 / 定員 170 名) である。(2016 年 12 月)
- ・ 国際交流会館は外国人研究者用 18 戸、外国人留学生用 218 戸を保有している。
- ・ 稼働率が低い。
- ・ 研究者用ゲストハウスが少ない。
- ・ キャンパスと学生宿舎の距離は 2 km 程度である。

■ 検討の方向

- ・ 自己保有や民間施設借り上げなどを含めた住居系施設の整備のあり方
- ・ 職員宿舎用地の売却及び活用方法



①薫風寮



②ゲストハウス